

# 大槻和夫先生・年譜および著述目録

広島大学教育学部国語教育学研究室編

## Ⅱ 凡 例

1. 本「大槻和夫先生年譜および著述目録」は、大槻和夫先生の広島大学停年ご退官に際して、その教育、研究、社会的活動にわたるご業績を顕彰し、もって後鑑ともすべく編纂するものである。
2. 本「年譜および著述目録」を編纂するにあたっては、
  - 大槻和夫先生ご作成の年譜稿
  - 教授昇任時「広島大学教員選考報告書」
  - 安田女子大学大学院設置申請提出書類
  - 大槻和夫先生ご作成の著述目録稿
  - 広島大学教育学部白書<sup>3</sup>「教育学部・教育学研究科自己点検・評価実施報告書」(1997)
  - 広島大学教育学部各種委員会委員記録資料綴
  - 各種学会機関誌「委員会名簿」等を参考にし、その点検にあたっては大槻先生より著書・雑誌論文の貸与、複写物提供の便宜をたまわった。
3. 「年譜」および「著述」標題は、両者を年次ごとにまとめて掲載した。なお、「著述目録」は1998（平成10）年12月末までの著述を採録範囲とした。
4. 「年譜」には、現在までのご経歴（履歴・職歴）にくわえ、広島大学および官庁、国立大学における併任・委員会委員、学外非常勤、学会委員の記録を掲載した。なお、併任・委員会委員、学外非常勤、学会委員の記録においては、任期初年度に在任期間をしめした。
5. 「著述目録」には、単行書（編著書・項目執筆著書・編纂書・辞書）、学会誌等の雑誌、月報、新聞、学級通信など、文字化されたものの標題を集録した。なお、各標題の前に、発行月・掲載物の種別（著書・編著書=■、編纂書・部分執筆単行書=◎、雑誌類=○）を記した。  
ただし、文字化されたもののすべてを集録すべくつとめたが、遺漏なしとしない。さらに、先生のご業績においては、講演、シンポジウム提案、各種教育研究会での指導助言、公民館等での講座担当なども大きな位置をしめているが、本目録においてはこれを割愛し、文字化されたものにかぎってその標題、掲載誌をしめすにとどまった。

6. 「著述目録」の記載要領は以下のとおり。

○著書・編著書

発行月・■・『書名』[(編著の場合は執筆箇所の章節名)・「標題」・所在頁]

・((編著の場合

は共編者名)、発行所名、発行年月)

(例) 8 ■ 『ヒロシマ・ナガサキ原爆児童文学選 太陽の落ちた日』[原爆児童文学について 1 「原爆児童文学紹介一中・長編を中心に」 p 212 ~ 221]  
(来栖良夫らと共編著、労働教育センター、一九八〇・八)

○編纂書・単行書 (項目担当執筆)

発行月・◎・『書名』[(執筆箇所の章節名)・「標題」・(共同執筆の場合は(共著者名))・所在頁]・(編著者名、発行所名、発行年月)

(例) 5 ◎ 『徒然草学習指導の研究』[六「徒然草からの入試問題の分析」(奥田邦男との共著) p 112 ~ 148] (土井忠生編、三省堂、一九六二・五)

○雑誌、月報等

発行月・○・「(シンポジウム記録・特集号の場合、(テーマ名・特集名))  
標題」・(共同執筆の場合は(共著者名))・((研究機関会誌の場合は編集機関名)『掲載誌名』号数、所在頁、

(出版社発行物の場合は発行所)、発行年月)

(例) 12 ○ 「ディルタイ解釈学の摂取について—勝部謙造博士のばあい—」

(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』8、p 448 ~ 457、一九六三・一二)

11 ○ 「(特集=国語科指導課程の研究・「最後の授業」の学習) 授業分析 授業展開の一般方式にしばられるな」(『授業研究』38、p 34 ~ 39、明治図書、一九六六・一一)

7. 本「年譜および著述目録」の作成にあたっては、大学院学生の北崎貴寛・木村香織・小椋雅典・下前知義・武久康高・伊東大介・伊藤美紀・伊藤裕介・棚田真由美・原一浩・山田由紀子の諸氏、および事務補佐員の長谷川麗子氏の協力をえた。

8. なお、本「年譜および著述目録」は、広島大学国語教育学研究会機関誌『論叢 国語教育学』第5号(1999年3月刊行予定)に再録した。

また、本「著述目録」とは別に、各著述を著書・学術論文・報告書・その他に類別した目録を作成し、「大槻和夫先生解題」と題したご業績解説を付して広島大学教育学部光葉会機関誌『国語教育研究』第42号(1999年6月発行予定)に掲載した。

以上

**36 (昭和11)** 0歳

2月 6日、京都府天田郡川合村(現、三和町)字岬582番地にて出生。

**42 (昭和17)** 6歳

4月 京都府天田郡川合村立川合小学校入学

**48 (昭和23)** 12歳

3月 川合小学校卒業

4月 京都府天田郡組合立細見中学校(現、三和中学校)入学

**51 (昭和26)** 15歳

3月 三和中学校卒業

4月 京都府立綾部高等学校入学

**54 (昭和29)** 18歳

3月 綾部高等学校卒業

4月 広島大学教育学部高等学校教育科国語科入学

**58 (昭和33)** 22歳

3月 広島大学卒業

4月 広島大学大学院教育学研究科教育学専攻(国語科教育)修士課程入学

**60 (昭和35)** 24歳

3月 広島大学大学院修士課程修了

4月 広島大学教務員(教育学部)

【著述記録】

- 80 「保科孝一氏のドイツ国語教育摂取の態度—日独国語教育交渉史研究(中間報告)—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』5、p 181～186、一九六〇・八)

**61 (昭和36)** 25歳

【著述記録】

- 70 「ディルタイ解釈学移入史の予備的考察—「解釈学の成立」を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』6、p 241～246、一九六一・七)

**62 (昭和37)** 26歳

3月 広島大学教務員依願退職

4月 広島大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程入学

【著述記録】

- 2○「ディルタイ解釈学移入史の予備的考察(2) — 「歴史的理性批判」を中心に —  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』7、p 215 ~ 220、一九六二・四)
- 5◎『徒然草学習指導の研究』[六「徒然草からの入試問題の分析」(奥田邦男と共著) p 112 ~ 148]  
(土井忠生編、三省堂、一九六二・五)。

**63 (昭和38)** 27歳

【著述記録】

- 10○「思考過程と過去経験—授業過程の分析」(吉本均ほかとの共著)[三「学習効果の比較検討」  
p 80 ~ 89]  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』8、p 69 ~ 90、一九六三・一〇)
- 12○「ディルタイ解釈学の摂取について—勝部謙造博士のばあい—  
(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』8、p 448 ~ 457、一九六三・一二)

**64 (昭和39)** 28歳

【著述記録】

- 3○「近代ドイツ国語教育論の—源流—ヒルデブラントの国語教育論—  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』9、p 201 ~ 210、一九六四・三)
- 5◎『講座授業研究V 授業の組織化と検証』[Ⅲ授業の効率と組織化(実践記録) 三「小学校高学年(『最後の授業』の実践)」(高田亘と共著) p 102 ~ 115] (砂沢喜代次編、明治図書、一九六四・五)
- 9○「(特集=「教授・学習課程研究」の構想) 授業の研究: 国語教材=壺井栄「坂道」(中1) (分析)」(小川太郎・佐藤正夫との共著) (『授業研究』10 =臨時増刊号、所在頁未確認、明治図書、一九六四・九)
- 11◎『近代国語教育年表Ⅱ—大正編—』[共同作業]  
(野地潤家編、広島大学教育学部国語教育研究室、一九六四・一一)
- 11○「思考過程と過去経験」(佐藤正夫・広島大学教育学部教育方法学グループとの共著)  
(全国授業研究協議会編集『教授学研究』1、p 44 ~ 72、明治図書、一九六四・一一)
- 11○「(特集=古典解釈について—土井忠生先生から教えていただき、感銘していること) 土井先生に教えていただいたこと」(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』9、p 109 ~ 111、一九六四・一一)

**65 (昭和40)** 29歳

3月 広島大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程単位取得退学  
4月 広島大学助手(教育学部)

【著述記録】

- 3○「道徳的思考と学級集団—授業分析第三次報告—」(広島大学教育方法学研究室グループ共同執筆)(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』10、p 66 ~ 72、一九六五・三)
- 8○「なぜ書かせるのか—技術主義の克服—」  
(広島県教職員組合教文部編『広島教育』162、p 54 ~ 57、広島教育会館出版部、一九六五・八)
- 12■『学習能率化のための基礎調査報告書(高校生の国語学習意識)』  
(野地潤家・白石寿文と共著、広島大学教育学部国語教育研究室、一九六五・一二)

**66 (昭和41)** 30歳

【著述記録】

- 2〇「マティアスの「ドイツ語教授史」について—ドイツの国語教育史研究—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』11、p 96～98、一九六六・二)
- 3〇「高校生の国語学習意識—目的・効用の面からみた—」〈白石寿文との共著〉  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』13、p 74～83、学芸図書、一九六六・三)
- 6〇『学校教育全書7 国語教育』[I 国語教育の意義 2 国語教育の流れ (3) 諸外国の国語教育「西ドイツの国語教育」p 55] (石井庄司編、全国教育図書、一九六六・六)
- 11〇「(特集=国語科指導課程の研究・「最後の授業」の学習) 授業分析 授業展開の一般方式にしばられるな」(『授業研究』38、p 34～39、明治図書、一九六六・一一)
- 12〇「近代ドイツ国語教育の成立・展開に関する一考察—ギムナジウムの教則を中心に—」  
(大下学園国語科教育研究会編『研究紀要』11、p 297～317、一九六六・一二)

**67 (昭和42)** 31歳

4月 広島大学講師(教育学部)

【著述記録】

- 4〇「ヒルデブラントについての一考察—東独におけるその評価—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』12、p 114～116、一九六七・四)
- 5〇「(書評) 国語科の授業研究6～8」  
(『授業研究』44、p 110～112、明治図書、一九六七・五)
- 11〇「読書指導と教科学習指導との関連」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』601、p 12～17、一九六七・一一)

**68 (昭和43)** 32歳

【著述記録】

- 2〇「ラーズの国語教育論—近代ドイツ国語教育史研究—」  
(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』14、p 59～67、一九六八・二)
- 3〇「19世紀末のドイツの作文教育論—中等学校作文教育を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』13、p 130～132、一九六八・三)
- 7〇「広島大学国語国文学会・国語教育研究協議会の歩み」  
(広島大学国語国文学会編『国文学攷』47、p 36～45、一九六八・七)
- 9〇『授業の集団化』[Ⅲ 授業の実践過程とその分析 一国語科における教材研究と集団思考 3 「『くもの糸』—八幡中学校一年国語の分析」p 104～117]  
(全国授業研究協議会編、明治図書、一九六八・九)
- 12〇「国民学校国語教育研究序説—教授原論面を中心に—」  
(広島大学教育学部編『広島大学教育学部紀要』17号第1部、p 113～125、一九六八・一二)

**69 (昭和44)** 33歳

【学内委員】

- ・全学：改革委員会=学内規則・処分制度専門委員会 (69.11.11～71.3.31)
- ・学部：入学試験関係委員 (69年度)

【著述記録】

- 3〇「19世紀末のドイツの国語教育論—中等学校読み方教育を中心に—」

- (中国四国教育学会編『教育学研究紀要』14、p 146～148、一九六九・三)  
6〇「国語の基礎能力と授業構造」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』620、p 13～19、一九六九・六)

**70 (昭和45)** 34歳

1月 広島大学助教授(教育学部)

【学内委員】

- ・全学：改革委員会 (70.6.16～71.6.15)
- ：改革委員会＝学内規則・処分制度専門委員会

【著述記録】

- 3〇「19世紀ドイツにおける文法教育論の展開—中等学校文法教育論を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』15、p 126～128、一九七〇・三)  
8〇「(特集＝一次感想の扱いをどう考えるべきか・4) 一次感想発表はなぜ必要か—授業研究にもとづく一つの試論—」(『教育科学・国語教育』142、p 22～27、明治図書、一九七〇・八)  
9〇「(特集＝教材研究・教材解釈 どこに問題があるか1) 現代課題に対処する視点からの研究を」  
(『授業研究』84、p 5～8、明治図書、一九七〇・九)  
12〇「(論説) 国語科教育研究の構想—課題と方法—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』638、p 12～17、一九七〇・一二)

**71 (昭和46)** 35歳

【学内委員】

- ・全学：改革委員会＝学内規則・処分制度専門委員会 (～71.3.31)
- ：改革委員会 (～71.6.15)
- ：広報委員会 (学長委嘱、71.4.24～74.3.31)

【著述記録】

- 3〇「19世紀ドイツの国語教育—古ドイツ語の教授—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』16、p 119～121、一九七一・三)  
5◎『小学校国語科指導事典』[「諸外国における国語教育の概要・ドイツ民主共和国」p 247～248]  
(倉澤栄吉ほか編、第一法規、一九七一・五)  
6〇「説明的文章の教材論」  
(『教育科学・国語教育』152、p 20～26、明治図書、一九七一・六)  
6〇「(特集＝リレー討論 授業研究の方法論をめぐって・14) 授業研究の基本的な問題について」  
(『現代教育科学』164、p 88～95、明治図書、一九七一・六)  
7◎『作文・綴り方教育史資料 下』[VI「昭和戦前期—国民学校時代の綴り方教育」p 359～382、  
「作文・綴り方教育史略年表」p 479～489] (野地潤家編、桜楓社一九七一・七)  
7〇「学習集団の組織化」論の基本的前提について」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』645、p 12～17、一九七一・七)

**72 (昭和47)** 36歳

【学内委員】

- ・全学：広報委員会 (学長委嘱、副委員長)
- ・学部：学部改革推進会議＝統合問題拡大小委員会 (72.4.1～73.3.31)
- ：同和教育推進委員会 (72.4.1～76.3.31)
- ：大学25年史編集委員会＝学部内委員 (72.4.1～79.3.31)

【著述記録】

- 1〇「(特集＝「能力・発達と評価」研究を全教師のものにするために) 問題提起 I」  
(広島県教職員組合教文部編『広島教育』241、p 34～41、広島教育会館出版部、一九七二・一)
- 2〇『古典の教え方(物語・小説編)』[『今昔物語』(馬盗人)一教材の扱い方と実践授業の展開] p 317～336(宮崎健三ほか編、右文書院、一九七二・二)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(1)―「補習教育要項」を中心に―」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』17、p 117～119、一九七二・三)
- 8〇「探求・表現する学習内容の開発―その教授学的国語教育的試論」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』658、p 12～17、一九七二・八)
- 9〇「(特集＝可能性を引き出す授業技術の分析・3) 板書・ノートの方法と研究課題」  
(『現代教育科学』179、p 29～34、明治図書、一九七二・九)
- 9〇「探求・表現する学習の成立条件―授業展開の面について―」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』659、p 12～17、一九七二・九)
- 12〇「(12月例会＝戦争児童文学による平和教育を進めるために) 問題提起」  
(広島平和教育研究所編『平和教育研究』1、p 54～63、一九七二・一二)

**73 (昭和48)** 37歳

【学内委員】

- ・全学：広報委員会(学長委嘱、副委員長)  
：総合地誌研究所設立準備委員会(73.4.1～75.3.31)  
：学生国際交流専門委員会＝専門委員会(73.4.1～76.3.31)  
：統合移転・改革に関する基本計画委員会＝専門委員会(言語系)(73.12.21～76.3.31)
- ・学部：学部改革推進会議＝統合問題拡大小委員会(～73.3.31)  
：同和教育推進委員会  
：大学25年史編集委員会＝学部内委員  
：将来計画委員会＝管理運営、教員養成制度調査に関する委員(73.4.1～77.3.31)

【著述記録】

- 1〇『中学校／高等学校 国語科教育法』[第三章国語科授業の成立・展開1「国語科授業の成立」 p 31～34](熊沢竜ほか編、桜楓社、一九七三・一)
- 2〇「(特集＝実践分析・一次感想の扱いをめぐる・2) 文学作品の読みとりの本質をふまえて」  
(『教育科学・国語教育』173、p 41～44、明治図書、一九七三・二)
- 2〇「(講演記録) 自主的に生き生き学習する子をどう育てるか」  
(府中中学校PTA広報部編集『府中中PTA 呉沙々字』47、p 1～4、一九七三・二・二八)
- 2〇「『戦前教育といまの私』原稿募集によせて」  
(『中国新聞』、一九七三・二)
- 3〇「文学教育の目標と課題―ドイツ民主共和国(東独)のばあい―」  
(全国大学国語教育学会『国語科教育』20、p 42～49、学芸図書、一九七三・三)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(2)―文学教育における陶冶と訓育の目標―」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』18、p 95～97、一九七三・三)
- 3〇「(特集＝通信簿のどこを改善すべきか・5) 見る側にたつての改善を」  
(『現代教育科学』185、p 28～29、明治図書、一九七三・三)
- 3〇「考えさせる授業と学習集団の問題」  
(教育情報センター編『授業研究情報』4、明治図書、p 21～27、一九七三・三)
- 3〇「集団過程研究Ⅱ 学習集団の研究」(吉本均、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』1、p 19～31、広島大学教育学部、一九七三・三)

- 3〇「集団過程研究Ⅱ 発問と集団思考」(吉本均、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』2、p 14 ~ 24、広島大学教育学部、一九七三・三)
- 6◎『読解読書指導事典』[「諸外国における読むことの指導・ドイツ民主共和国」所在頁未確認]  
(倉澤栄吉ほか編、第一法規、一九七三・六)
- 6〇「『戦前の教育と私』の選考を終えて」  
(「朝日新聞」、一九七三・六・六)
- 8〇「学習集団づくりと学習内容—真の学習の成立をめざして—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』670、p 12 ~ 17、一九七三・八)
- 9〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(一)—その基本—」  
(『教育技術・中学教育』、p 68 ~ 73、小学館、一九七三・九)
- 10〇「(特集=授業研究の方法とその研究課題1)国語科における授業研究の方法」  
(『授業研究』121、p 89 ~ 94、明治図書、一九七三・一〇)
- 10〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(二)—教材研究について—」  
(『教育技術・中学教育』、p 66 ~ 71、小学館、一九七三・一〇)
- 11〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(三)—発問について—」  
(『教育技術・中学教育』、p 68 ~ 73、小学館、一九七三・一一)
- 11◎『戦前の教育と私』[「座談会・手記を読んで」p 315 ~ 338]  
(広島平和教育研究所編、朝日新聞社、一九七三・一一)
- 12〇「ドイツ民主共和国の文学教育—詩教育を中心に—」  
(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』20、p 27 ~ 39、一九七三・一二)
- 12〇「(特集=授業で子どもが「変わる」ということは、どういうことか・2)授業における主権者の形成」(『現代教育科学』194、p 15 ~ 18、明治図書、一九七三・一二)
- 12〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(四)—学習集団の指導—」  
(『教育技術・中学教育』、p 70 ~ 75、小学館、一九七三・一二)
- 12〇「(特集=広教組・沖教組平和教育交流団報告)基地の中の沖縄—沖縄返還とはなんであったか—」(広島県教職員組合教文部編『広島教育』267、p 24 ~ 27、一九七三・一二)

## 74 (昭和49) 38歳

### 【学内委員】

- ・全学：広報委員会(学長委嘱、副委員長、~74.3.31)
  - ：総合地誌研究所設立準備委員会
  - ：学生国際交流専門委員会=専門委員会
  - ：統合移転・改革に関する基本計画委員会=専門委員会(言語系)
  - ：国家公務員宿舎委員会(74.4.1 ~ 76.3.31)
  - ：大学教育センター研究員(74.5.1 ~ 78.4.30)
- ・学部：将来計画委員会=管理運営
  - ：同和教育推進委員会
  - ：大学25年史編集委員会=学部内委員

### 【著述記録】

- 1〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(五)—教師の話し方—」  
(『教育技術・中学教育』、p 60 ~ 65、小学館、一九七四・一)
- 2◎『世界の作文教育』[第3章ドイツの作文教育 その1「ドイツ民主共和国(東独)の作文教育」  
p 131 ~ 174](野地潤家編、文化評論出版、一九七四・二)
- 2〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(六)—教育評価について—」  
(『教育技術・中学教育』、p 72 ~ 77、小学館、一九七四・二)
- 2〇「(特集=読書会で発言しない子の指導)発言しない子と学習集団づくり」  
(全国学校図書館協議会編『学校図書館』280、p 49 ~ 54、一九七四・二)



- 2〇「家庭における平和教育の前提」(全国平和教育研究協議会準備会・広島平和教育研究所編『平和教育運動』1、p 135～139、広島教育会館出版部、一九七四・二)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(3)―「寓話」の取り扱い―」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』19、p 136～138、一九七四・三)
- 3〇「(連載講座・新授業入門)「わかる授業」をどうつくるか(七)―条件整備を求めて―」  
(『教育技術・中学教育』、p 72～77、小学館、一九七四・三)
- 3〇「考えさせる授業と学習集団の問題」  
(教育情報センター編『授業研究情報』3、p 21～27、明治図書、一九七四・三)
- 3〇「(特集＝教育課程改定への提言)課程審への提言(1)国語教育の立場から」  
(教育調査研究所編『教育展望』、p 10～15、一九七四・三)
- 4〇「(特集＝リレー討論 わかる授業をどう組織するか・第一回)わかる授業―その基本」  
(『現代教育科学』198、p 119～125、明治図書、一九七四・四)
- 4〇「[集団的学習]から[学習集団の形成]へ―教師の指導性について―」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』678、p 6～11、一九七四・四)
- 5◎『現代教科教育学大系2・言語と人間』[Ⅲ教科教育としての言語教育 1「国語科の成立・展開―ドイツ」p 124～128、Ⅳ言語教育の未来像 1「教育改革の動向と言語教育―(2)変動する社会と国語教育」p 190～197]  
(倉澤栄吉ら編、第一法規、一九七四・五)
- 9◎『訓育と生活指導の理論』[第一部授業における訓育Ⅲ教材と訓育 3「人文的学科〈言語・文学〉と訓育」p 70～83](佐藤正夫編、明治図書、一九七四・九)
- 10〇「わかる授業と教育内容の精選」  
(『現代教育科学』205、p 31～36、明治図書、一九七四・一〇)
- 10〇「(特集＝新教育課程の構想(7) 授業の組織化―そのための教材研究と発問、理論・方法の研究①) 授業の組織化と発問―武田常夫氏の実践に学ぶ―」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』684、p 6～11、一九七四・一〇)
- 12〇「(書評)井上弘著『よい授業の条件』(現代授業論双書1)」  
(『現代教育科学』207、p 104～105、明治図書、一九七四・一二)

## 75(昭和50) 39歳

### 【学内委員】

- ・全学：総合地誌研究所設立準備委員会(～75.3.31)
  - ：統合移転・改革に関する基本計画委員会＝専門委員会(言語系)
  - ：学生国際交流専門委員会＝専門委員会
  - ：国家公務員宿舎委員会
  - ：大学教育センター研究員
- ・学部：将来計画委員会＝管理運営
  - ：同和教育推進委員会
  - ：大学25年史編集委員会＝学部内委員

### 【学外非常勤】

- ・比治山女子短期大学「国語科教育法」(75.4.1～75.9.30)
- ・広島赤十字高等看護学院「文学」(75.10.1～76.3.31)

### 【学会委員】

- ・日本教育方法学会常任理事(75.10～現在)

### 【著述記録】

- 1◎『小学校国語科教育法』[第二章国語科指導への視点 4「発問の工夫」p 32～36]  
(熊沢竜ほか編、桜楓社、一九七五・一)
- 1〇「(特集＝新教育課程研究(10) 新教育課程における学習内容の創造、理論・方法の研究②) 教育内容の創造―どう発想するか―」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』687、  
(9)

p 12～17、一九七五・一)

- 1○「(子どもの教育にとっていま、何が一番たいせつかシリーズ) 子どもに未来への理想を十代半ばにして人生をあきらめている子どもたち」(『家庭と教育』161、p 46～49、東方出版、一九七五・一)
- 3◎『一般研究 C・発達段階に応じた教育目的とその具体化の方法に関する研究—初等段階を中心として—』[「ドイツ民主共和国の国語教育—カリキュラムを中心に—」p.5～24]  
(広島大学教育学部教科教育研究会編、一九七五・三)
- 3○「ドイツ民主共和国の国語教育(4)—「メルヘン」の取扱い—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』20、p 173～175、一九七五・三)
- 3○「学習集団の構造とその指導過程」(吉本均、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』3、p 7～11、広島大学教育学部、一九七五・三)
- 5○「(特集=わかる授業のための教材精選の具体的方法・小学校) 小国=わかる授業と教材精選の視点」(教育情報センター編集『授業研究情報』7、p 34～43、明治図書、一九七五・五)
- 9○「(特集論文1) 集団を必要とする授業—坂本泰造氏の実践に学ぶ—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』695、p 6～11、一九七五・九)
- 10○「子供にとって魅力ある授業とは」  
(『小四教育技術』、p 20～24、小学館、一九七五・一〇)
- 10○「国語教育研究の初心—『国語教育学の構想』への書きこみから—」  
(『西尾実国語教育全集』7・月報7、p 50～52、教育出版、一九七五・一〇)
- 11○「(特集=国語科教育学研究のあり方・問題点、5) ドイツ(西ドイツ)の国語科教育学研究—教員養成改革と関連して—」(井上敏夫・野地潤家編集『国語科教育学研究』1、p 146～154、明治図書、一九七五・一一)

## 76(昭和51) 40歳

### 【学内委員】

- ・全学：学生国際交流専門委員会=専門委員会(～76.3.31)
  - ：統合移転・改革に関する基本計画委員会=専門委員会(言語系)(～76.3.31)
  - ：国家公務員宿舎委員会(～76.3.31)
  - ：大学教育センター研究員
  - ：入学者選抜方法検討委員会=学力検査方法専門委員会(76.4.1～78.10.24)
- ・学部：同和教育推進委員会(～76.3.31)
  - ：将来計画委員会=管理運営
  - ：大学25年史編集委員会=学部内委員

### 【学外非常勤】

- ・大下学園女子短期大学「文学」(76.4.1～76.9.30)
- ・広島赤十字高等看護学院「文学」(76.10.1～77.3.31)

### 【学会委員】

- ・日本教育方法学会常任理事

### 【著述記録】

- 3○「文学教育カリキュラムの構造—ドイツ民主共和国のばあい—」  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』23、p 44～51、学芸図書、一九七六・三)
- 3○「ドイツ民主共和国の国語教育(5)—シュトルム「白馬の騎者」の取り扱い—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』21、p 141～143、一九七六・三)
- 3○「(集団過程研究〈I〉) 学習行為の特性と学習集団」(吉本均、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』4、p 1～4、広島大学教育学部、一九七六・三)
- 3◎『宮城教育大学の教育改革—視察報告書—』[「I 宮城教育大学における改革の理念と方法」p

- 1～3、「VI入試改革」p 40～41] (広島大学大学教育研究センター・教師教育プロジェクト編『大学研究ノート』23、一九七六・三)
- 5○「(第一分科会A=文学教育と平和教育) 平和教育の視点に立つ文学教育—国語科のカリキュラム試案をめぐって」(日本平和教育研究協議会編『平和教育運動』3、p 10～17、広島教育会館出版部、一九七六・五)
- 6○「(特集=提案に対する意見・3) 知識の媒介・確信の形成・諸能力の発達の統一と系統化を」(『教育科学・国語教育』220、p 36～41、明治図書、一九七六・六)
- 6○「(第一分科会A=文学教育と平和教育) 平和教育の視点に立つ文学教育—国語科のカリキュラム試案をめぐって」(広島県教職員組合教文部編『広島教育』299、p 10～17、広島教育会館出版部、一九七六・六)
- 7◎『ヒロシマからの報告—平和・教育・被爆者問題を考える』[第2部ヒロシマの平和教育とその展望・報告と討論「家庭や子どもの状況と平和教育」p 127～141] (山田浩ほか編、労働教育センター、一九七六・七)
- 8○「(特集=新しい学力と学習集団(6) 教材研究から授業設計への条件②) 教材研究から授業設計への条件—文学教材のばあい—」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』707、p 12～17、一九七六・八)
- 10◎『教育方法 8 教育課程再編の原則』[Ⅲ諸外国における教育課程再編の動向 三「ドイツ民主共和国における教育課程の改革」(加納幹雄ほかとの共著) p 153～176] (日本教育方法学会編、明治図書、一九七六・一〇)
- 10○「(特集=授業に学習リーダーは必要か1) 国語科授業と学習リーダーの問題」(『授業研究』162、p 21～26、明治図書、一九七六・一〇)
- 11◎『現代作文講座 7 作文教育の方法』[各国の作文教育 3「ドイツ民主共和国(東独)の作文教育」p 254～260] (林大ほか編、明治書院、一九七六・一一)
- 11○「(児童文化) “情況と人間” を読みとらせることのたいせつさ—作品『雲』の教材解釈をめぐって—」(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』3、p 133～134、明治図書、一九七六・一一)
- 12○「(特集=中学校新国語科の実践研究の課題・4) 国語科の本質をふまえた実践研究を」(『教育科学・国語教育』227、p 160～163、明治図書、一九七六・一二)

**77 (昭和52) 41歳**

**【学内委員】**

- ・ 全学：入学者選抜方法検討委員会=学力検査方法専門委員会  
：大学教育センター研究員  
：平和科学研究センター運営委員会 (研究員、77.6.1～83.3.31)
- ・ 学部：将来計画委員会=管理運営 (～77.3.31)  
：大学25年史編集委員会=学部内委員  
：横尾委員会 (管理運営検討委員会) (77.7.20～80.3.31)

**【学外非常勤】**

- ・ 比治山女子短期大学「国語科教育法」(77.4.1～77.9.30)
- ・ 広島赤十字看護専門学校「文学」(77.10.1～78.3.31)

**【学会委員】**

- ・ 日本教育方法学会常任理事

**【著述記録】**

- 1○「(特集=第4回全国平和教育シンポジウム報告、第一分科会A=文学教育と平和教育) なぜ戦争児童文学を読ませるのか」(日本平和教育研究協議会編『広島教育』307、p 10～17、広島県教職員組合教文部、一九七七・一)
- 1○「(第一分科会A=文学教育と平和教育) なぜ戦争児童文学を読ませるのか」(日本平和教育研究協議会編集『平和教育運動』4、p 10～17、広島平和教育研究所・出版

部、一九七七・一)

- 1 ■ 『中学校指導シリーズ 国語 読書への招待』  
(広瀬節夫と共著、学校図書、一九七七・一)
- 2 ○ 「(特集=教師教育カリキュラムの研究 {1}) 教師教育研究の課題」  
(広島大学大学教育研究センター・教師教育プロジェクト編『大学研究ノート』27、p 1~4、一九七七・二)
- 3 ○ 「ドイツ民主共和国の国語教育(6) —外国文学の取り扱い—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』22、p 152~154、一九七七・三)
- 3 ○ 「(集団過程研究〈I〉) 集団思考の組織化と教師の指導性」(吉本均、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』5、p 1~9、広島大学教育学部、一九七七・三)
- 4 ○ 「(特集=平和価値と平和教育) [特集2: 平和教育] 広島における平和教育の歩みと今日の課題」(日本平和学会編集『平和研究』2、p 54~65、日本経営出版会、一九七七・四)
- 4 ○ 「(座談会) 教育基本法と広島の教育の歩み」  
(広島県教職員組合教文部編『広島教育』310、p 28~39、一九七七・四)
- 5 ○ 「到達目標の設定と評価法改善の意義」  
(広島県教職員組合教文部編『広島教育』311、p 2~4、一九七七・五)
- 6 ○ 「(特集=ひとりひとりの読みを生かす授業構造・1) 読みを生かす授業の条件」  
(『教育科学・国語教育』234、p 5~10、明治図書、一九七七・六)
- 7 ◎ 『ヒロシマで教える 核時代の平和教育』[第三章 原爆教育と児童文化] p 177~203  
(NGO 被爆問題国際会議広島専門委員会・広島平和教育研究所編、労働教育センター、一九七七・七)
- 8 ○ 「(特集=新指導要領の能力・学力観の検討 国語科教育の立場から・4) 「情報化社会」適応の国語能力観—ほんとうにこれでいいのか—」(『現代教育科学』245、p 89~92、明治図書、一九七七・八)
- 9 ◎ 『原爆と広島大学 「生死の火」 学術編』[Ⅲ 「平和教育関係」 p 269~276]  
(広島大学原爆死没者慰霊行事委員会編、同発行、一九七七・九)
- 9 ○ 「いまこそ平和教育の全国化・世界化を—NGO被爆問題国際シンポジウム参加記—」  
(広島県教職員組合教文部編『広島教育』315、p 47~49、一九七七・九)
- 11 ○ 「巨峰へのアプローチ」  
(『垣内松三著作集』4付録、p 6~8、光村図書、一九七七・一一)

## 78 (昭和53) 42歳

### 【学内委員】

- ・ 全学：大学教育センター研究員 (～78.4.30)
  - ： 入学者選抜方法検討委員会=学力検査方法専門委員会 (～78.10.24)
  - ： 平和科学研究センター運営委員会 (研究員)
- ・ 学部：大学25年史編集委員会=学内委員
  - ： 横尾委員会 (管理運営検討委員会)
  - ： 新キャンパス施設配置計画委員会 (78.4.1～90.3.31)

### 【学外非常勤】

- ・ 比治山女子短期大学「国語科教育法」(78.4.1～78.9.30)
- ・ 広島赤十字看護専門学校「文学」(78.10.1～79.3.31)

### 【学会委員】

- ・ 日本教育方法学会常任理事

### 【著述記録】

- 1 ○ 「(特集=実践記録に何を望むか) 子どもの変容を書く」  
(西郷竹彦編集『文芸教育』25、p 28~34、明治図書、一九七八・一)

- 2〇「(特集=国語科授業の創造) 国語科授業の創造のために」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』69、p 2～4、一九七八・二)
- 3〇「(シンポジウム提案 I) 言語教育の今日的課題」  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』25、p 4～9、学芸図書、一九七八・三)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(7) —国語学力の発達の問題を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』23、p 156～158、一九七八・三)
- 3〇「教材解釈力の訓練—文学の授業の場合—」  
(吉本均・学習集団研究会編『学習集団研究』6、p 16～25、明治図書、一九七八・三)
- 3〇「(集団過程研究) 思考の誘発と組織化に関する「教授行為」の分析」(吉本均、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』6、p 1～10、広島大学教育学部、一九七八・三)
- 6〇「(巻頭論説) 戦争をどう教えるか」  
(『学図教科研究—中学校編—国語』3、p 1～6、学校図書、一九七八・六)
- 6〇「(日平研図書) 森田俊男・横川嘉範編『平和教育—何を教え語りつづか—』、国民教育研究所編『平和教育の理論と実践』(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』8、p 125～128、明治図書、一九七八・六)
- 7〇「(特集=個性を伸張し合う学習集団の創造(4) 子どもがどう変わると学習集団が高まったといえるのか②) 学習集団の形成と言語活動の指導」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』732、p 14～21、一九七八・七)
- 8〇「文学教育の独自性について—ドイツ民主共和国の国語教育論から—」  
(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』24、p 14～22、一九七八・八)
- 9〇「文章表現の年輪」  
(せせらぎ会編『せせらぎ』58、p 1、一九七八・九)
- 10〇「(第41回国語教育全国大会シンポジウム) 国語科の実践的課題」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』77、p 2、一九七八・一〇)
- 11〇「戦後高校国語教育の歩みとこれからの課題」  
(『国語科通信』39、p 18～29、角川書店、一九七八・一一)
- 11〇「(特集=広島大学改革) 教育学部の改組(I) —東千田地区を中心に—」  
(日本科学者会議広島県支部編『地域と科学者』5、p 15～21、一九七八・一一)
- 12◎『核と平和 日本人の意識』[V平和教育と核意識 1「家庭の平和教育と子どもの核意識」p 83～93、同2「学校の平和教育と子どもの核意識」p 93～107、X総括と提言 2「平和教育への提言」p 214～220](庄野直美ほか編、法律文化社、一九七八・一二)

**79 (昭和54) 43歳**

**【併任】**

・福岡教育大学「国語科教育研究C」(集中講義、79.7.11～79.7.14)

**【学内委員】**

- ・全学：平和科学研究センター運営委員会(研究員)
- ・学部：大学25年史編集委員会=学内委員(～79.3.31)
  - ：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：横尾委員会(管理運営検討委員会)
  - ：教育実習検討委員会(79.4.1～89.3.31)

**【学外非常勤】**

- ・比治山女子短期大学「国語科教育法」(79.4.1～79.9.30)
- ・広島赤十字看護専門学校「文学」(79.10.1～80.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会幹事・事務局長
- ・日本教育方法学会常任理事

【著述記録】

- 1○「(特集：文芸の授業記録の書き方・読み方) 実践記録に何を望むか—子どもの変容を書く—  
(西郷竹彦編『文芸教育』25、明治図書、p 28～34、一九七九・一)
- 3○「言語教育の目標と課題—ドイツ民主共和国の場合—  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』26、p 78～84、学芸図書、一九七九・三)
- 3○「ドイツ民主共和国の国語教育(8)—言語教育における「コミュニケーションの原理」について—  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』24、p 233～235、一九七九・三)
- 3○「(教師教育研究〈I〉) 高校教師養成に関する調査研究—広島大学教育学部卒業生を対象として—  
(垣田直巳、他との共著)  
(広島大学教育学部学術部・附属共同研究体制編『研究紀要』7、p 77～91、広島大学教育学部、一九七九・三)
- 3○「「ゆとりの時間」の民主的計画・実践のための視点、原則」  
(広島県教職員組合教文部編『広島教育』333、p 2～4、一九七九・三)
- 4◎『新版 中学校／高等学校 国語科教育法』[第七章国語科授業の展開 1 「国語科授業の成立と展開」 p 138～145] (中西昇ほか編、桜楓社、一九七九・四)
- 6○「(特集＝「よい授業の条件とは何か」) 授業の二側面をふまえて」  
(『教育科学・国語教育』262、p 78～79、明治図書、一九七九・六)
- 10○「子どもと教育—子どもの権利保障確立の第一歩として—」  
(広島県教職員組合編『広島教育』336、p 16～20、一九七九・一〇)
- 11◎『教育学講座8 国語教育の理論と構造』[第四章国語教育の課題 第一節「学力問題」 p 160～171.] (倉澤栄吉ほか編、学習研究社、一九七九・一一)
- 12○「(講演記録) 子育てを見直す」(一九七九・一一・一九、於尾道市立高須小学校)  
(『学年だより二年 たんぼぼ』特別号その1～17、一九七九・一二・四～一九八〇・一一・二八)

80 (昭和55) 44歳

【学内委員】

- ・全学：平和科学研究センター運営委員会 (研究員)
- ・学部：横尾委員会 (管理運営権等委員会) (～80.3.31)
  - ：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：教育実習検討委員会

【学外非常勤】

- ・比治山女子短期大学「国語科教育法」(80.4.1～80.9.30)
- ・広島赤十字看護専門学校「文学」(80.10.1～81.3.31)

【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会幹事・事務局長
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事

【著述記録】

- 1○「「故郷」取り扱い上の二一三の問題」  
(『学図教科研究—中学校編—国語』19、p 4～7、学校図書、一九八〇・一)
- 3○「ドイツ民主共和国の国語教育(9)—表現指導を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』25、p 223～225、一九八〇・三)
- 3○「(集団過程研究〈I〉) 集団思考の深化と組織化のための「指導言」の分析」(吉本均、他との共著) (広島大学教育学部学術部・附属共同研究体制編『研究紀要』8、p 1～10、広島大学教育学部、一九八〇・三)
- 3○「(教師教育研究 I) 教育実習生に対する授業作成過程の指導」(垣田直巳、他との共著)  
(広島大学教育学部学術部・附属共同研究体制編『研究紀要』8、p 77～85、広島大学教育

- 学部、一九八〇・三)
- 3◎『教職能力形成のための実践的研究＝教育システムの開発(Ⅱ)』[「教授用フィルム(VTR)による小学校国語説明文指導の記録とその分析」p 65～85] (広島大学教育学部教育方法改善研究委員会編、一九八〇・三)
- 3○「(主張) どこがおかしいのか—平和と民主主義のとらえかえしを—」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』11、p 5～7、明治図書、一九八〇・三)
- 4◎『教育実習研究 昭和55年度』[Ⅲ授業指導論2「国語科の授業構成と授業観察」p 35～40]  
(広島大学教育学部・同附属中等高等学校・同附属小学校編、同発行、一九八〇・四)
- 5◎『現代教授学2 授業における発達の教授学』[V「授業の指導と知的発達」p 92～108]  
(吉本均編、明治図書、一九八〇・五)
- 5○「(問題提起・2) 平和教育は何をどう教える教育か」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育運動』7、p 84～85、広島平和教育研究所・出版部、一九八〇・五)
- 8○「(特集＝評価観点としての「国語に対する関心・態度」とは何か—観点別学習状況の評価をめぐって・3) 目標構造からみた「国語に対する関心・態度」(『教育科学・国語教育』278、p 15～19、明治図書、一九八〇・八)
- 8■『ヒロシマ・ナガサキ原爆児童文学選 太陽の落ちた日』[原爆児童文学について 1「原爆児童文学紹介—中・長編を中心に」p 212～221] (来栖良夫らと共編著、労働教育センター、一九八〇・八)
- 9○「(授業研究(授業の検討)) 子どもの読みがどう変わったか」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』758、p 38～41、一九八〇・九)
- 10○「(特集＝達成基盤を明確化した授業の可能性) 達成基準を明確化した国語科授業の改善」  
(『現代教育科学』287、p 26～31、明治図書、一九八〇・一〇)
- 11◎『講座中学校国語科教育の理論と実践第一巻 中学校国語科の理論』[Ⅰ国語科教育の基礎理論「教科構造論—国語科の構造—」p 62～74] (増淵恒吉ほか編、有精堂、一九八〇・一一)
- 11○「ドイツにおける小学読本の歴史的展開(1)」  
(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』26下、p 462～471、一九八〇・一一)
- 11○「(特集＝事例報告を読んでの感想・3) 主体的な学習活動を成立させる授業を—到達目標と学習目標の関連を考える—」(『教育科学・国語教育』281、p 55～58、明治図書、一九八〇・一一)

## 81 (昭和56) 45歳

### 【学内委員】

- ・全学：平和科学研究センター運営委員会(研究員)
- ・学部：新キャンパス施設配置計画委員会  
：教育実習検討委員会  
：教育方法改善研究委員会(81.4.1～84.3.31)

### 【学外非常勤】

- ・比治山女子短期大学「国語科教育法」(81.4.1～81.9.30)
- ・広島赤十字看護専門学校「文学」(81.10.1～82.3.31)

### 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事

### 【著述記録】

- 1○「(特集＝楽しい国語学習を成立させる条件とは何か・3) 学習者の内面に対立・矛盾を生み出す授業—そのためのいくつかの視点と方法—」(『教育科学・国語教育』284、p 15～19、明治図書、一九八一・一)

- 1 ○ 「表現・理解の関連指導のあり方—なにを軸にすえるか—  
 (『学図教科研究—小学校編—国語』29, p 7～9, 学校図書, 一九八一・一)
- 2 ◎ 『講座 国語科教育の探究 1 総論・言語指導の整理と展望』[言語編Ⅱ章「言語事項の指導内容論」p 145～165] (全国大学国語教育学会編, 明治図書, 一九八一・二)
- 2 ○ 「(教育への提言 2)「励まし合いの教育」をつくり出すために—授業を中心に—  
 (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』763, p 12～17, 一九八一・二)
- 3 ◎ 『(文部省初等中等教育局昭和 55 年度教育研究開発に関する調査研究委嘱事業) 小学校における各教科の内容に関する国際的比較研究Ⅱ』[第Ⅳ章「西ドイツの小学校国語科教育」p 51～81] (現代教育課程研究会編, 文部省初等中等教育局, 一九八一・三)
- 3 ○ 「ドイツ民主共和国の国語教育 (10) —文法指導を中心に—  
 (中国四国教育学会編『教育学研究紀要』26, p 302～305, 一九八一・三)
- 3 ○ 「(集団過程研究Ⅲ) 主体的・集団的学習活動成立のための指導技術—社会科「大工場と中小工場」の授業分析を中心として—」(恒吉宏典, 他との共著)  
 (広島大学教育学部学術部・附属共同研究体制編『研究紀要』9, p 15～21, 広島大学教育学部, 一九八一・三)
- 3 ◎ 『教職能力形成のための実践的研究—教育システムの開発 {Ⅲ}』[「国語教育学」教育改善の一方策—教授用 VTR テープの作成とその利用] (広島大学教育学部教育方法改善研究委員会編, p 131～148, 一九八一・三)
- 4 ◎ 『国語教育史資料・第六巻 年表』(橋本暢夫らと共同作業)  
 (野地潤家編, 東京法令出版, 一九八一・四)
- 5 ◎ 『新版 国語教育学研究』[第九章国語科教育の課題 二「学力論と国語科教育」p 270～274] (全国大学国語教育学会編, 学芸図書, 一九八一・五)
- 5 ○ 「(第二主題—国語・文学の教育と芸術の教育)(討議記録) ○国語・文学の教育のあり方, ○表現・理解・鑑賞教育の方法」(日本国語教育学会『月刊・国語教育研究』109, p 27～48, 一九八一・五)
- 6 ■ 『国語教材研究シリーズ 7 説明文編』[—「説明文教材の性格・分析と指導方法」p 7～19, 二「低学年教材「さけが大きくなるまで」(教育出版・二年下)」p 20～50] (野地潤家と共編著, 桜楓社, 一九八一・六)
- 6 ◎ 『藤原与一先生古稀記念論集・方言学論叢Ⅱ—方言研究の射程』[「ドイツの方言指導」p 269～280] (藤原与一編, 三省堂, 一九八一・六)
- 6 ○ 「(授業研究(授業の検討) 1) 単元構成の原理を考える—一つの検討視点として—  
 (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』767, p 38～45, 一九八一・六)
- 6 ◎ 『平和教育実践事典』[項目執筆, 無記名]  
 (広島平和教育研究所編, 労働旬報社, 一九八一・六)
- 8 ◎ 『教科教育の基礎用語シリーズ 国語科重要用語 300 の基礎知識』[18「コミュニケーション」p 28, 33「行動目標」p 42, 35「態度」p 44, 36「知識」p 46, 37「理解」p 47, 38「習熟」p 48, 52「言語活動の形態」p 62, 148「利用指導」p 158, 149「学校図書館」p 159, 152「適書」p 162, 154「読書能力」p 164, 155「読書実態調査」p 165, 191「インタビュー」p 201, 258「修飾・被修飾」p 268, 294「評価」p 304, 295「到達度評価」p 305, 296「形成的評価」p 306, 298「面接法」p 308, 299「観察法」p 309]  
 (野地潤家編, 明治図書, 一九八一・八)
- 9 ○ 「(特集—実践課題・2) 国語学力論の方向と実践課題」  
 (『教育科学・国語教育』293, p 76～82, 明治図書, 一九八一・九)
- 11 ■ 『国語教材研究シリーズ 8 論説・評論編』[—「論説・評論の指導と教材分析」p 5～21] (野地潤家と共編著, 桜楓社, 一九八一・一一)
- 11 ◎ 『読書案内 中学・高校編』[中学校編『原爆詩集—峠三吉』=民族の怒りと未来への警告」p 80～84] (日本文学協会編, 大修館書店, 一九八一・一一)
- 12 ○ 「(特集—国語科単元学習で基礎学力は育つか) 基礎学力のとらえ方とその形成—単元学習の何を生かすか—」(『現代教育科学』301, p 23～28, 明治図書, 一九八一・一二)
- 12 ○ 「教科書攻撃の意味するもの—国語を例にして—」



(全生研編集『生活指導』293、p 100～107、明治図書、一九八一・一二)

## 82 (昭和57) 46歳

### 【学内委員】

- ・全学：平和科学研究センター運営委員会（研究員）
- ・学部：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：教育実習検討委員会
  - ：教育方法改善研究委員会
  - ：同和教育推進委員会（82.4.1～89.3.31）
- ・教室：教室主任（82.4.1～93.3.31）

### 【学外非常勤】

- ・広島赤十字看護専門学校「文学」（82.10.1～83.3.31）

### 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事

### 【著述記録】

- 2◎『シリーズ・小学校国語科教育5・単元学習の進め方』[「単元学習と国語学力の関係を、どう考えるか」p 207～219]（倉澤栄吉ほか編、教育出版、一九八二・二）
- 2○「(特集＝提言・授業のヤマ場を創出するための条件とは・1) ヤマ場を創出するための三つの条件―「授業の成立」をめざして―」(『教育科学・国語教育』298、p 11～16、明治図書、一九八二・二)
- 3○「ドイツ民主共和国の国語教育(11)―語彙指導を中心に―」(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』27、p 238～241、一九八二・三)
- 4○「(教育への提言2) 発達論の視点からの教育の見直し―教育の再生を求めて―」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』777、p 12～17、一九八二・四)
- 5○「(集団過程研究Ⅱ) 主体的・集団的学習活動成立のための指導技術の実証的研究―社会科「低地のくらし」の授業分析を中心として―」(恒吉宏典、他との共著) (広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』10、p 9～14、広島大学教育学部、一九八二・五)
- 5◎『読書案内 小学校編』[「ハイジ」p 338、「長くつ下のピッピ」p 340] (日本文学協会編、大修館書店、一九八二・五)
- 6○「(第二部研究情報)―基礎学力の研究動向」(『教育科学・国語教育』303、p 50～53、明治図書、一九八二・六)
- 9○「(特集＝提言・「情報読み」の授業はどうあるべきか・2) 認識能力を育てる指導をこそ」(『教育科学・国語教育』306、p 17～22、明治図書、一九八二・九)
- 9○「(授業研究〈授業の検討〉) 指導的評価のあり方を探る」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』783、p 38～43、一九八二・九)
- 10 ■『基礎学力保障のために② 達成目標を明確にした国語科授業改造入門』[「はじめに」p 1～2、「Ⅰ達成目標明確化の意義と国語科授業の改善」p 9～21、「Ⅲ達成目標明確化による授業過程の改造」p 57～70] (編著、明治図書、一九八二・一〇)
- 10○「(第一分科会：基調提案) 文学教育と平和教育」(日本平和教育研究協議会編集『平和教育運動』9、p 29、広島平和教育研究所・出版部、一九八二・一〇)
- 11○「(提言) 国語の授業蘇生へのみち―「荒れない」部分への着目を―」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』126、p 54～55、一九八二・一一)
- 12○「(特集＝教師教育カリキュラムの研究(2)) 教師教育カリキュラムの構造と内容―東独の場合を中心に―」(広島大学大学教育研究センター・教師教育プロジェクト編『大学研究ノート』

**83 (昭和58)** 47歳

**【学内委員】**

- ・全学：平和科学研究センター運営委員会（研究員、～83.3.31）
- ・学部：同和教育推進委員会
  - ：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：教育実習検討委員会
  - ：教育方法改善研究委員会
- ・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

- ・広島赤十字看護専門学校「文学」（83.10.1～84.3.31）

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 1〇「(特集＝「指導内容」の改革は何か・2) 形式的言語操作主義からの脱却を」  
『教育科学・国語教育』312、p 53～58、明治図書、一九八三・一)
- 1〇「(特集＝西郷文芸学の検討) 構想論—認識・伝達・創造論として—」  
(西郷竹彦編『文芸教育』37臨時増刊号、p 95～102、明治図書、一九八三・一)
- 1〇「“目からうろこが落ちる” 思い」  
『大村はま国語教室』9・月報2、p 3～5、筑摩書房、一九八三・一)
- 2〇『国語科教育研究1 国語学力論と実践の課題』[序章「なぜ今、学力を問題にするのか」p 7～18] (全国大学国語教育学会編、明治図書、一九八三・二)
- 2〇「(特集＝国語教育研究の動向) ドイツ民主共和国における国語教育改革の動向」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』129、p 12～16、一九八三・二)
- 2〇「文学教育と平和教育」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』16、p 18～27、明治図書、一九八三・二)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(12) —正書法の指導を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』28、p 220～223、一九八三・三)
- 3〇「作文意欲を育てる基本—作文への意欲を持たせるには—」  
『月刊国語教育』18、p 59～65、東京法令出版、一九八三・三)
- 3〇「(教師教育研究I) 高校教師の養成・現職教育充実のための方策について—高校教師へのアンケートを通して—」(垣田直巳、他との共著)(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』11、p 55～65、広島大学教育学部、一九八三・三)
- 4■『中学校教育実践選書 11『わかる授業の創造』[第一章「学びがいのある授業とは」p 9～45] (高田哲郎と共編著、あゆみ出版、一九八三・四)
- 5〇『中学校教育実践選書(教科編) たのしくわかる 中学国語の授業 2 古典と説明的文章』[II 説明的文章 第一章「説明的文章の授業の現状と問題点」p 123～137] (太田昭臣ほか編、あゆみ出版、一九八三・五)
- 7〇「(特集号：第2回東広島市小中学生作文コンクール・総評) 考えを深めるために一小中学生のみなさんへ」(「ひがしひろしま」292、東広島ジャーナル、一九八三・七・二九)
- 8〇『国語教育叢書 15 国語科教授法実践必携』[第二章国語科教育の核心 2「教材研究」p 36～38] (解釈学会編、教育出版センター、一九八三・八)
- 8〇「(主題＝国語科教育の当面する諸問題の解決を求めて) 基調提案—主題についての問題提起」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』135、p 2～3、一九八三・八)

- 11〇「(特集=特集の解明・子どもの作文の見方・ほめ方〈1〉)「ほめて育てる」ための基本」  
 (『実践国語研究』42、p 6～11、明治図書、一九八三・一一)

**84 (昭和59)** 48歳

4月 広島大学教授(教育学部)

**【学内委員】**

- ・学部：教育方法改善研究委員会 (～84.3.31)
  - ：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：教育実習検討委員会
  - ：同和教育推進委員会
  - ：入学者選抜方法検討委員会 (84.4.1～87.3.31)
  - ：日本語研修コース設立準備委員会 (84.4.1～87.3.31)
- ・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

- ・広島赤十字看護専門学校「文学」(84.4.1～84.9.30)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 2〇「(特集=「文学教育がひらくもの」シンポジウム報告) 状況認識の力を一平和教育の視点から一」(日本文学協会編『日本文学』三三―2、p 20～26、一九八四・二)
- 2〇「(特集=海外の基本語彙) 東ドイツにおける学習基本語彙」  
 (『日本語学』16、p 87～94、明治書院、一九八四・二)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(13) ―議論作文の指導を中心に―」  
 (中国四国教育学会編『教育学研究紀要』29、p 314～317、一九八四・三)
- 3〇「文学の授業の原理について―ドイツ民主共和国の文学教育論から―」  
 (広島大学国語国文学会編『国文学攷』101、p 49～57、一九八四・三)
- 3〇「集団過程研究Ⅰ 授業展開における教師の指導技術=「タクト」の実証研究―対立・分化の組織化と集団思考の深化を中心に―」(恒吉宏典、他との共著)  
 (広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』12、p 1～11、広島大学教育学部、一九八四・三)
- 3〇『授業研究の手引き』[「国語科授業研究の手引き」p 135～144]  
 (広島大学教育学部教育方法改善研究委員会編、一九八四・三)
- 3〇「(講演記録) 子どもの暮らしと心と言葉」  
 (広島県高等学校教育研究会国語部会編『年報』25、p 3～18、一九八四・三)
- 4〇『最新 中学校国語科指導法講座1 国語科指導法総論』[「中学校における国語科指導課程の構想5「国語科の授業改善」p 57～67」(飛田多喜雄ほか編、明治図書、一九八四・四)]
- 4〇「(図書紹介)「核未来戦争に関する本」  
 (日本平和教育研究協議会編集『平和教育』18、p 84～87、明治図書、一九八四・四)
- 5〇『講座/現代の文学教育第3巻 小学校[高学年編]』[第二章教材研究と指導 6「『ネギを植えた人』(金素雲)―朝鮮民族の心―」p 96～106」(日本文学協会国語教育部会編、新光閣書店、一九八四・五)]
- 5〇「(授業研究(授業の検討1)) 言語に着目した読みの指導を発展させるために」  
 (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』802、p 38～41、一九八四・五)
- 8〇「(授業研究(授業の検討)) 読み深めの過程を考える」  
 (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』805、p 40～45、一九八四・八)

- 8 ■ 『野地潤家先生に学びて』 [「まえがき」 p i ~ iii、「師恩」 p 43 ~ 50]  
(編著、野地潤家先生御退官記念事業会、一九八四・八)
- 9 ○ 「(関西集会・発表要旨)」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』148、p 22、一九八四・九)
- 9 ○ 「国語教育と学習集団」  
(吉本均・学習集団研究会編『学習集団研究』10、p 118 ~ 130、明治図書、一九八四・九)
- 11 ○ 「(教育への提言1) ひとりひとりを生かす授業の基礎—読みの指導の場合—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』808、p 6 ~ 11、一九八四・一一)
- 11 ◎ 『日本大百科全書』 [「暗唱」「音読」「朗読」「生活綴り方的教育」など項目執筆]  
(小学館、一九八四・一一 ~ 一九八六)
- 11 ○ 「(講演記録) 生き生きとした古典の学習を求めて」  
(古典教育研究会編『古典教育』9、p 62 ~ 77、広島附属中・高等学校内古典教育研究会、一九八四・一一)

**85 (昭和60)** 49歳

**【併任】**

- ・高知大学「国語科教育学」(集中講義、85.12.1 ~ 85.12.4)

**【学内委員】**

- ・学部：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：教育実習検討委員会
  - ：同和教育推進委員会
  - ：入学者選抜方法検討委員会
  - ：日本語研修コース設立準備委員会
- ・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

- ・広島赤十字看護専門学校「文学」(85.4.1 ~ 85.9.30)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 2 ○ 「(基礎講座=授業改善の方法・1) 授業改善の出発点—問題をとらえる—」  
(『月刊国語教育』41、p 116 ~ 121、東京法令出版、一九八五・二)
- 2 ○ 「(特集=提言・どんな考えで「教材」を読めばよいか(3)) 学習者の読みの予測に立った教材研究」(『教育科学・国語教育』343、p 17 ~ 22、明治図書、一九八五・二)
- 3 ○ 「ドイツ民主共和国の国語教育(14) —文学教育改革の動向を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』30、p 354 ~ 357、一九八五・三)
- 3 ○ 「(基礎講座=授業改善の方法・2) 授業の成立をめざして」  
(『月刊国語教育』42、p 112 ~ 117、東京法令出版、一九八五・三)
- 3 ○ 「「文学の方法」に即し、学習者の読みを予測して」  
(『教育科学・国語教育』345、p 10 ~ 11、明治図書、一九八五・三)
- 4 ○ 「(基礎講座=授業改善の方法・3) 「おもしろくない授業」を「おもしろい授業」へ」  
(『月刊国語教育』43、p 108 ~ 113、東京法令出版、一九八五・四)
- 4 ○ 「(授業研究〈授業の検討1〉) 学習者とともに創る授業」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』813、p 38 ~ 41、一九八五・四)
- 5 ○ 「(基礎講座=授業改善の方法・4) 「学習のてびき」の工夫を中心とした授業改善」  
(『月刊国語教育』44、p 106 ~ 111、東京法令出版、一九八五・五)

- 6〇「(巻頭言) 根底からの国語教育の問い直しを」  
 (日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』157、p 1、一九八五・六)
- 6〇「(基礎講座=授業改善の方法・5) 学習者相互のかかわりあいの組織化を」  
 (『月刊国語教育』45、p 116～121、東京法令出版、一九八五・六)
- 6〇「説明的文章の読みの指導研究三点」  
 (『教育科学・国語教育』349、p 29、明治図書、一九八五・六)
- 7〇「(基礎講座=授業改善の方法・6) 個人的、集団的な授業改善の進め方」  
 (『月刊国語教育』46、p 114～119、東京法令出版、一九八五・七)
- 9〇「(特集=子どもに今、何を教えるか) 人間として、人間らしく」  
 (西郷竹彦編『芸芸教育』48、p 45～50、明治図書、一九八五・九)
- 9〇「(特集=誌上シンポジウム・提案に対する意見(2)) 読者論を導入した授業の具現化をめざして」(『教育科学・国語教育』352、p 23～28、明治図書、一九八五・九)
- 9〇「(提言 Ⅲ) 作文指導の現状と課題」  
 (日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』160、p 26～27、一九八五・九)
- 9〇「(特集=子どもの本と戦争・平和) 読書によって子どもの平和への認識をどう育てるか」  
 (日本子どもの本研究会『子どもの本棚』48、p 6～15、あゆみ出版、一九八五・九)
- 10〇「(特集=提言・説明文指導をどう改善するか(1)) 自問自答としての読み」  
 (『教育科学・国語教育』353、p 12～16、明治図書、一九八五・一〇)
- 10◎『平和事典』[Ⅳ平和と教育—2 平和教育運動(7)「広島平和教育研究所」p 130、(16)「戦争  
 児童文学」p 137～138、—4 平和教育教材(1)「教科書」(2)「副教材」(3)「文学作品」p 142  
 ～143] (広島平和文化センター編、勁草書房、一九八五・一〇)
- 11〇「(授業研究〈授業の検討〉) 何に関わらせるか—文学作品の読みの指導の場合—」  
 (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』820、p 40～45、一九八五・一一)
- 11〇「ことばの豊かな子が伸びる—すべての子どもに国語の力を—」  
 (『家庭と教育』291、p 6～11、東方出版、一九八五・一一)

**86 (昭和61) 50歳**

**【学内委員】**

- ・学部：新キャンパス施設配置計画委員会
- ：教育実習検討委員会
- ：同和教育推進委員会
- ：入学者選抜方法検討委員会
- ：日本語研修コース設立準備委員会
- ：日本語教育学科運営委員会 (86.4.1～87.3.31)
- ・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

- ・広島赤十字看護専門学校「文学」(86.4.1～86.9.30)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 1〇「(国語教育改革会議に参加して〈第1回〉・7) 文学教育の充実・発展をめざして」  
 (『教育科学・国語教育』358、p 186～192、明治図書、一九八六・一)
- 1◎『世界歴史大辞典』[「解釈学」p 39「生成文法」p 68]  
 (梅棹忠夫、他監修、教育出版センター、一九八六・一)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(15) —読み方の指導を中心に—」

- (中国四国教育学会編『教育学研究紀要』31、p 266～269、一九八六・三)
- 3〇「古田擴先生の国語教育論」  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』33、p 152～155、学芸図書、一九八六・三)
- 3〇「(司会者としての感想) 文学作品の特殊性をふまえた読みを」  
(『現代教育科学』352、p 91～95、明治図書、一九八六・三)
- 4〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第一回) 問題の発見—何を改革するのか—」  
(『教育科学・国語教育』361、p 120～125、明治図書、一九八六・四)
- 4〇「(授業研究〈授業の検討1〉) 対話としての読み—授業から触発されたこと—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』825、p 39～42、一九八六・四)
- 5〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第二回) 「授業の地獄」からの脱出(その一)」  
(『教育科学・国語教育』363、p 120～125、明治図書、一九八六・五)
- 5〇「(新刊紹介) 授業学研究会・岡山大学教授長田久男他編著『小学校教材論』」  
(『実践国語教育情報』29、p 58～59、教育出版センター、一九八六・五)
- 6〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第三回) 生き生きとした学習をつくりだすために」  
(『教育科学・国語教育』364、p 120～125、明治図書、一九八六・六)
- 6〇「宇宙の単位で数えてみれば」  
(ひろしまゆたかな保育をすすめる会編「広島ゆたかな保育」14、p 1、一九八六・六・一〇)
- 7〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第四回) 授業過程改革の基本」  
(『教育科学・国語教育』366、p 120～125、明治図書、一九八六・七)
- 7〇「(特集=個に応じ、個性を伸ばす教材の開発(教育への提言)) 個に応じる教材化の工夫」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』828、p 6～11、一九八六・七)
- 8〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第五回) 主体的・能動的な学習に立ち上がらせるために(その一)」(『教育科学・国語教育』367、p 120～125、明治図書、一九八六・八)
- 9〇『教科教育学Ⅰ—原理と方法—』[第2章教科教育の領域と方法 第1節「国語能力の形成と教科」p 35～52](広島大学教科教育学研究会編、建帛社、一九八六・九)
- 9〇『教科教育学Ⅱ—教科過程論—』[第3章諸外国の教科課程 第6節「中国の教科過程」p 110～119、第4章教科過程編成の基本問題 第1節「教科存立の根拠と教科の編成」p 127～131](広島大学教科教育学研究会編、建帛社、一九八六・九)
- 9〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第六回) 主体的・能動的な学習に立ち上がらせるために(その二)」(『教育科学・国語教育』368、p 120～125、明治図書、一九八六・九)
- 10〇「(提言Ⅱ) 授業の成立をめざして」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』173、p 26～27、一九八六・一〇)
- 10〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第七回) 子どもたちの目を醒ます語りかけを」  
(『教育科学・国語教育』369、p 120～125、明治図書、一九八六・一〇)
- 11〇「(提言Ⅳ) 国語の授業を魅力あるものに」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』174、p 24、一九八六・一一)
- 11〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第八回) 「学習の手引き」に工夫を」  
(『教育科学・国語教育』370、p 117～122、明治図書、一九八六・一一)
- 12〇「(授業研究〈授業の検討〉) 説明文教材の読みの指導—提案の意義と課題—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』833、p 40～45、一九八六・一二)
- 12〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第九回) 関わり合う教室を創り出すために」  
(『教育科学・国語教育』372、p 110～114、明治図書、一九八六・一二)

**87 (昭和62)** 51歳

**【学内委員】**

- ・学部：入学者選抜方法検討委員会 (～87.3.31)
- ：日本語研修コース設立準備委員会 (～87.3.31)
- ：日本語教育学科運営委員会 (～87.3.31)
- ：教育実習検討委員会

- ：同和教育推進委員会
- ：新キャンパス施設配置計画委員会
- ：移転に伴うカリキュラム調整委員会 (87.4.1 ~ 89.3.31)
- ：新キャンパス設備整備委員会 (87.4.1 ~ 90.3.31)
- ：留学生日本語教育将来構想検討委員会 (87.4.1 ~ 89.3.31)

・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

- ・広島女子大学「教材研究・国語」「保育内容・言語」(87.4.1 ~ 88.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 1 〇「(提言=教育課程審議会「中間まとめ」—私はこうみる) 戦後の研究と実践を踏まえた改訂を」  
(『月刊国語教育』64、p 76 ~ 78、東京法令出版、一九八七・一)
- 1 〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第十回) 指導的評価活動の見直し」  
(『教育科学・国語教育』373、p 120 ~ 125、明治図書、一九八七・一)
- 1 〇「(主張) 平和の問題を考える力を育てよう」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』25、p 5 ~ 7、明治図書、一九八七・一)
- 2 〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第十一回) 指導事項の重点化を」  
(『教育科学・国語教育』374、p 120 ~ 125、明治図書、一九八七・二)
- 2 〇「(特集=説明文の授業改善をめざして・意見1) 教師の指導性の確立を」  
(児童言語研究会編『国語の授業』78、p 17 ~ 22、一光社、一九八七・二)
- 3 〇「ドイツ民主共和国の国語教育(16) 一言語教育課程の改革を中心に」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』32第2部、p 19 ~ 24、一九八七・三)
- 3 〇「(連載=国語科教育授業改革の課題・第十二回) 授業改善のすじみち」  
(『教育科学・国語教育』375、p 120 ~ 125、明治図書、一九八七・三)
- 3 〇「(特集=入門 芦田恵之助) 近代教育史の中で芦田実践をとらえたい」  
(『教育科学・国語教育』376、p 193 ~ 194、明治図書、一九八七・三)
- 3 〇『現代授業研究大事典』[「外言と内言」p 180 ~ 181、「投げ込み教材」p 513 ~ 514、「一読総合法」p 614 ~ 616] (吉本均編、明治図書、一九八七・三)
- 3 〇『大学院における高校教員養成の在り方に関する理論的・実証的研究』1 [(IV高等学校教科課程の改善について)「国語科」p 39 ~ 41] (広島大学教育学部、一九八七・三)
- 3 〇『授業改善の試み』[講演内容と県外視察報告「生徒一人ひとりを生かす授業」p 88]  
(広島県立呉昭和高等学校編、同発行、一九八七・三)
- 4 〇『授業の構想と展開のタクト』[II「働きかける」教授技術の構造」p 59 ~ 84、III「集団思考の成立と媒介的指導」p 85 ~ 122、IV「集団思考を呼びおこす指導技術」p 123 ~ 154、V「能動的学習と班話し合いの指導」p 155 ~ 182、VI「授業展開における応答的タクト」p 183 ~ 209] (共同執筆) (吉本均ほか編、ぎょうせい、一九八七・四)
- 4 〇「(連載—私の本棚) 大槻和夫」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』26、p 96 ~ 97、明治図書、一九八七・四)
- 6 〇「(特集=「自己学習力」は個性の伸張とどうかかわるか(教育への提言)「自己学習力」と個性の伸張—内発的動機づけの問題を中心に—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』839、p 6 ~ 11、一九八七・六)
- 6 〇「広島」  
(『教育科学・国語教育』380 = 「国語教育研究年鑑' 87年版」、p 193 ~ 194、明治図書、一九八七・六)
- 7 〇「(授業研究(授業の検討)) 説明文の授業について」

- (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』840、p 38～41、一九八七・七)
- 7○「国語科教育と人権・平和の教育」  
(『学図教科研究国語一中学校編一』91、p 1～5、学校図書、一九八七・七)
- 7○「(連載一私の本棚) 大槻和夫」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』27、p 96～97、明治図書、一九八七・七)
- 10○「(シンポジウム提案) 言語コミュニケーションの力と授業」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』185、p 27～28、一九八七・一〇)
- 10○「(連載一私の本棚) 大槻和夫」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』28、p 96～97、明治図書、一九八七・一〇)
- 12○「(連載=諸外国の国語教育・ドイツ民主共和国の国語教育1) 体系的な文学教育」  
(『月刊国語教育』75、p 12～17、東京法令出版、一九八七・一二)
- 「老化の兆候測定」に思う」  
(広島大学レクリエーション委員会編『不死鳥』26、p 21～24、一九八七)

**88 (昭和63)** 52歳

**【併任】**

- ・神戸大学「国語科教育法」(集中講義、88.10.16～88.10.19)

**【学内委員】**

- ・全学：大学院委員会 (88.4.1～91.3.31)
- ・学部：同和教育推進委員会
  - ：移転に伴うカリキュラム調整委員会
  - ：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：新キャンパス設備整備委員会
  - ：教育実習検討委員会
  - ：留学生日本語教育将来構想検討委員会
  - ：代議員会 (88.4.1～90.3.31)
  - ：評議員・学科主任会議 (88.4.1～89.3.31)
  - ：参与会 (88.4.1～89.3.31)
  - ：組織・運営検討委員会 (88.4.1～89.3.31)
  - ：紀要編集委員会・教育学研究科博士課程論文集刊行編集委員会 (88.4.1～90.3.31)
  - ：心理教育相談室運営委員会 (88.4.1～90.3.31)
  - ：留学生日本語教育運営委員会 (88.4.1～90.3.31)
  - ：統合移転実施委員会 (88.4.1～90.3.31)
  - ：入学者選抜方法検討委員会 (88.4.1～89.3.31)
- ・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

- ・広島女子大学「教材研究・国語」「保育内容・言語」(88.4.1～89.3.31)
- ・府中町立府中公民館「古典文学入門講座」(88.6.2～88.7.7)
- ・放送大学教材作成協力者 (88.6.15～89.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 1◎『たのしくわかる 国語3年の授業』[第VI章国語教育・明日への課題①「国語科における学力保障」p 200～210] (田近洵一ほか編、あゆみ出版、一九八八・一)
- 1◎『実践教職課程講座 23 国語科』[第5章「授業研究」p 237～256]



- (望月善次ほか編、日本教育図書センター、一九八八・一)
- 1〇「(特集=戦後の国語教育論争から学ぶ) 基礎学力論争から学ぶ」  
 (『教育科学・国語教育』388、p 24～29、明治図書、一九八八・一)
- 1〇「(授業研究(授業の検討)) 説明文指導の創意・工夫」  
 (広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』846、p 38～41、一九八八・一)
- 1〇「(連載=諸外国の国語教育・ドイツ民主共和国の国語教育2) 長編小説の取り扱い」  
 (『月刊国語教育』76、p 16～21、東京法令出版、一九八八・一)
- 1〇「(連載=私の本棚) 大槻和夫」  
 (日本平和教育研究協議会編集『平和教育』29、p 96～97、明治図書、一九八八・一)
- 3〇「ドイツ民主共和国の国語教育(17) 一言語教育改革の事例一」  
 (中国四国教育学会編『教育学研究紀要』33 第2部、p 43～48、一九八八・三)
- 3◎『研究開発実施報告書 B 中学校及び高等学校における教育の連携を深める教育課程の開発』  
 [「運営指導委員としてコメント」所在頁未確認] (広島大学附属中・高等学校編、一九八八・三)
- 3◎『現代教育評価事典』[「国語科の評価」所在頁未確認] (東洋ほか編、金子書房、一九八八・三)
- 4〇「(連載=私の本棚) 大槻和夫」  
 (日本平和教育研究協議会編集『平和教育』30、p 96～97、明治図書、一九八八・四)
- 6〇「広島」  
 (『教育科学・国語教育』395 = 「国語教育研究年鑑' 88 年版」、p 201～202、明治図書、一九八八・六)
- 10〇「(問題提起) 学習者が意欲的に取り組む国語教室の創造—国語科教育改革の実践的課題」  
 (日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』197、p 2、一九八八・一〇)
- 12〇「戦後創始期の国語教育を確かめる」  
 (『倉澤栄吉国語教育全集』2・月報8、p 1～2、角川書店、一九八八・一二)
- ◎、『国語教育研究大辞典』[「ディルタイ」p 607、「ドイツの国語科教育」p 613～615、「野地潤家」p 657～658] (国語教育研究所編、明治図書、一九八八)

## 89 (平成元) 53歳

### 【学内委員】

- ・全学：大学院委員会
- ・学部：留学生日本語教育将来構想検討委員会 (～ 89.3.31)
  - ：教育実習検討委員会 (～ 89.3.31)
  - ：同和教育推進委員会 (～ 89.3.31)
  - ：入学者選抜方法検討委員会 (～ 89.3.31)
  - ：移転に伴うカリキュラム調整委員会 (～ 89.3.31)
  - ：評議員・学科主任会議 (～ 89.3.31)
  - ：参加会 (～ 89.3.31)
  - ：組織・運営検討委員会 (～ 89.3.31)
  - ：代議員会
  - ：紀要等編集委員会
  - ：心理教育相談室運営委員会
  - ：留学生日本語教育運営委員会
  - ：新キャンパス施設配置計画委員会
  - ：新キャンパス設備整備委員会 (委員長)
  - ：統合移転実施委員会
  - ：統合移転実施委員会・幹事会 (89.4.1～90.3.31)
  - ：ユニット主任連絡会 (89.4.1～90.3.31)
  - ：将来構想検討委員会 (89.4.1～91.3.31)
  - ：教務委員会 (89.4.1～90.3.31)

: 予算委員会 (89.4.1 ~ 91.3.31)

・教室: 教室主任

【学外非常勤】

・広島女子大学「教材研究・国語」「保育内容・言語」(89.4.1 ~ 90.3.31)

【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

【著述記録】

- 1〇「(各教科別改訂のポイントと問題点・国語・基本的性格にかかわる矛盾) 言語教育の重視と道徳教育の充実」(『子どもと教育』臨時増刊号、p 24 ~ 27、あゆみ出版、一九八九・一)
- 3〇「(司会者のまとめ) 対話成立の条件」  
(大下学園国語科教育研究会編集『研究紀要』25、p 100 ~ 102、大下学園祇園高校、一九八九・三)
- 4◎『情操の教育(改訂版)』[8「子どもの読書生活Ⅱ—その方法」p 76 ~ 86、9「文学の授業」p 87 ~ 103](片岡徳雄ほか編、放送大学教育振興会、一九八九・四)
- 5〇「(授業研究(授業の検討)) 何をどのように読み取らせるか—提案事項の検討—」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』862、p 38 ~ 41、一九八九・五)
- 7〇「(連載=諸外国の国語教育・ドイツ民主共和国の作文教育1) 体系的系統的な作文指導」  
(『月刊国語教育』94、p 23 ~ 28、東京法令出版、一九八九・七)
- 7〇「広島」  
(『教育科学・国語教育』415 = 「国語教育研究年鑑'89年版」、p 202 ~ 203、明治図書、一九八九・七)
- 7〇「(連載—私の本棚) 大槻和夫」  
(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』35、p 96 ~ 97、明治図書、一九八九・七)
- 8〇「(連載=諸外国の国語教育・ドイツ民主共和国の作文教育2) 示唆に富む議論文指導」  
(『月刊国語教育』95、p 23 ~ 28、東京法令出版、一九八九・八)
- 9〇「(授業研究(授業の検討)) 「何を讀みとらせるのか」を求めて」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』866、p 38 ~ 41、一九八九・九)
- 10〇「(シンポジウム提案④) 中学・高校における言語指導の課題」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』209、p 13 ~ 14、一九八九・一〇)

**90-(平成2)** 54歳

【学内委員】

- ・全学: 大学院委員会
- ・学部: 新キャンパス施設配置計画委員会 (~ 90.3.31)
  - : 新キャンパス設備整備委員会 (~ 90.3.31)
  - : 代議員会 (~ 90.3.31)
  - : 紀要編集委員会・教育学研究科博士課程論文集刊行編集委員会 (~ 90.3.31)
  - : 心理教育相談室運営委員会 (~ 90.3.31)
  - : 留学生日本語教育運営委員会 (~ 90.3.31)
  - : 統合移転実施委員会 (~ 90.3.31)
  - : 統合移転実施委員会・幹事会 (~ 90.3.31)
  - : ユニット主任連絡会 (~ 90.3.31)
  - : 教務委員会 (~ 90.3.31)
  - : 将来構想検討委員会
  - : 予算委員会

・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

・広島女子大学「教材研究・国語」「保育内容・言語」(90.4.1～91.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事

**【著述記録】**

- 1◎『新 中学校／高等学校 国語科教育法概論』[第一部総論編第三章高等学校の国語科 第四節「現代文」の学習指導] p 80～84(倉澤榮吉、他編、有精堂、一九九〇・一)
- 2○「(留学生日本語教育の歴史 1) 日本語・日本事情(1)」(『広島大学留学生日本語教育』2、p 55～56、広島大学留学生日本語教育研究室、一九九〇・二)
- 3◎『小学校教育技術全集2 ことばの学び手を育てる国語科の授業』[第1章国語科教育の今日的課題1「国語科における学力保障」p 16～24](田近洵一編、ぎょうせい、一九九〇・三)
- 3○「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(1)一物語文指導の場合一」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』18、p 1～11、広島大学教育学部、一九九〇・三)
- 3○「これからの教科教育」(日本教育学会編『教育学研究』57—1、p 61～64、一九九〇・三)
- 3◎『広島大学四十一年の日々』[第六章教育学部長の一年間 1「教育学部の改組」p 145～147](沖原豊学長退官記念誌刊行会編、第一法規、一九九〇・三)
- 4◎『平和教育実践選書6 国語・文学と平和』[第一章国語・文学の教育と平和教育 1「読み方・文学教育と平和教育の課題」p 9～15](中川暁編、桐書房、一九九〇・四)
- 4○「(連載—平和教育入門講座・教科をとおして平和教育をどうすすめるか 1) 国語・文学教育と平和教育」(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』38、p 105～112、明治図書、一九九〇・四)
- 6○「(特集=文芸の授業でどんな力を育てるか)「人間認識の力を育てる」文芸教育論の学力論的体系とその意義」(西郷竹彦編『文芸教育』51、p 39～45、明治図書、一九九〇・六)
- 6○「広島」(『教育科学・国語教育』428 = 「国語教育研究年鑑'90年版」、p 194～195、明治図書、一九九〇・六)
- 7○「(今後の課題)「ことばを育て、心を育てる」国語教育を」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』218、p 115、一九九〇・七)
- 7○「万葉の旅から」(『学図教科研究国語—中学校編—』121、p 1～4、学校図書、一九九〇・七)
- 8■『たのしくわかる高校国語Ⅰ・Ⅱの授業 1文学』[「まえがき」p 3～5(田近洵一らと共著)](田近洵一らと共編著、あゆみ出版、一九九〇・八)
- 9■『たのしくわかる高校国語Ⅰ・Ⅱの授業 2説明・論説・作文』[「まえがき」p 3～5(田近洵一らと共著)、Ⅰ実践の視点2「作文の授業」p 16～21](田近洵一らと共編著、あゆみ出版、一九九〇・九)
- 9○「(授業研究(授業の検討)) 学習課題を深くとらえて一真の学習を成立させるために一」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』878、p 38～41、一九九〇・九)
- 10■『たのしくわかる高校国語Ⅰ・Ⅱの授業 3古典』[「まえがき」p 3～5(田近洵一らと共著)、Ⅲこれからの実践と研究1「(古典教育の課題) 古典の授業を魅力あるものに」p 204～213](田近洵一らと共編著、あゆみ出版、一九九〇・一〇)
- 10■『教職科学講座 17 国語教育学』[「まえがき」p 3～5、序章「国語教師への道」p 9～13、第1章「国語科の仕事」p 14～19](編著、福村出版、一九九〇・一〇)
- 10○「(小講演) 文学作品の読みの授業における「感動」と「意味づけ」—高等学校のお二人の報

告を聞いて考えたこと」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』221、p 32 ~ 33、一九九〇・一〇)

- 10〇「(特集=授業記録についての誌上シンポジウム) 文学の授業—提案についての二三の私見—」(児童言語研究会編『国語の授業』100、p 60 ~ 62、一光社、一九九〇・一〇)

**9 1 (平成3)** 5 5 歳

**【併任】**

・大学設置・学校法人審議会専門委員=大学設置分科会(文部省高等教育局、91.8.1 ~ 92.3.31)

**【学内委員】**

- ・全学：大学院委員会(～91.3.31)
  - ：附属学校教育実習専門委員会(91.4.1 ~ 98.3.31)
- ・学部：将来構想検討委員会(～91.3.31)
  - ：予算委員会(～91.3.31)
  - ：教務委員会(91.4.1 ~ 93.3.31)
  - ：教育実習委員会(委員長、91.4.1 ~ 97.3.31)
  - ：就職委員会(91.4.1 ~ 93.3.31)
- ・教室：教室主任

**【学外非常勤】**

・広島女子大学「教材研究・国語」「保育内容・言語」(91.4.1 ~ 92.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

**【著述記録】**

- 1〇「(講演要旨) 意欲の主體的に学ぶ国語科授業の工夫」(『第23回中国地区私学教育研修会・第21回広島県分科会』、p 20 ~ 21、広島県私立中学・高等学校協会、一九九一・一)
- 1〇「(選評) 読書感想文を読んで」(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成2年度読書感想文コンクール入賞者作品から)』、p 1 ~ 2、一九九一・一・一)
- 3〇「(講演記録) 国語科新教育課程実施上の諸問題」(一九九〇年一月九日、於・広島大学附属中・高等学校中等教育研究大会)(広島大学附属中・高等学校国語科編『国語科研究紀要』別冊、p 1 ~ 14、一九九一・三)
- 4■『中学校・高等学校 国語科教育法—教材の研究と授業の実際—』[第一編総説編 第一章「国語科教育のあゆみ」p 7 ~ 16、第二章「国語科教育の課題」p 17 ~ 24](川端俊英らと共編著、双文社、一九九一・四)
- 6◎『新版 中学校・高等学校 国語科教育研究』[IX国語科の課題4「二十一世紀に向けて」p 177 ~ 179](全国大学国語教育学会編、学芸図書、一九九一・六)
- 6〇「(授業研究(授業の検討)) 文学の授業における共同体験の成立と意味づけ」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』887、p 38 ~ 43、一九九一・六)
- 6〇「清水文雄先生への私信」(王朝文学の会編『河』24、p 88 ~ 89、一九九一・六)
- 8〇「(特集=「言語教育と文学教育」論争が国語科教育に示唆するもの) 国分・石田論争を正當に位置づけよ」(『教育科学・国語教育』447、p 17 ~ 19、明治図書、一九九一・八)
- 10〇「(個が伸びる国語教室の創造 シンポジウム提案②) 個と集団の弁証法的、力動的関係の展開を」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』233、p 28 ~ 29、一九九一・一〇)
- 10〇「万葉の旅から(続)—志貴皇子の歌を中心に—」

(『学図教科研究国語—中学校編—』131, p 5～8、学校図書、一九九一・一〇)

## 9 2 (平成4) 56歳

### 【併任】

- ・大学設置・学校法人審議会専門委員=大学設置分科会 (文部省高等教育局、92.8.1～93.3.31)
- ・学術審議会専門委員 (文部省学術国際局、92.2.1～93.1.20)

### 【学内委員】

- ・全学：附属学校教育実習専門委員会
- ・学部：教務委員会
  - ：教育実習委員会 (委員長)
  - ：就職委員会
- ・教室：教室主任

### 【学外非常勤】

- ・広島女子大学「教材研究・国語」「保育内容・言語」(92.4.1～93.3.31)

### 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

### 【著述記録】

- 1〇「戦後の学力論争から見た新指導要録の学力観」  
(『現代教育科学』422, p 9～13、明治図書、一九九二・一)
- 1〇「(講演要旨) 中高国語科授業の工夫」  
(『第24回中国地区私学教育研修会・第22回広島県分科会』, p 26～28、広島県私立中学・高等学校協会、一九九二・一)
- 1〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成3年度読書感想文コンクール入賞者作品から)』, p 1～2、一九九二・一・一)
- 2〇「(特集=提案に対する意見)「文学の授業では何を教えるのか—西郷提案の教授学的意義—」  
(西郷竹彦編『文芸教育』59, p 12～17、明治図書、一九九二・二)
- 3〇「大村先生のご提案をどう受けとめるか—ひとりの聞き手として考えたこと—」  
(大下学園国語科教育研究会編『研究紀要』29, p 26～28、大下学園祇園高校、一九九二・三)
- 3〇「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(2)—物語文指導の場合—」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』20, p 31～40、広島大学教育学部、一九九二・三)
- 3〇「言語・言語文化への関心を高める国語科授業」(吉田裕久、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』20, p 41～49、広島大学教育学部、一九九二・三)
- 4〇「(特集=卒業生の進路) 教科教育学科国語教育学専修」  
(『広島大学教育学部・後援会報』1, p 9、一九九二・四)
- 6〇「(授業研究(授業の検討)) 子どもの読みを生かす授業の工夫」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』899, p 38～43、一九九二・六)
- 7〇「(特集=認識力と表現力がどう結びつけられているか) 教科書教材の活用と欠落の補充を」  
(『教育科学・国語教育』462, p 34～35、明治図書、一九九二・七)
- 8〇「ことばの学び手を育てる 国語単元学習の新展開 I 理論編」[第一章国語単元学習の理論 三「国語の学力と単元学習」p 36～53](日本国語教育学会編、東洋館出版社、一九九二・八)
- 10〇「(明日へつながる国語科教育のあり方を求めて シンポジウム提案②)「明日へつながる授業」  
(29)

をつくるために」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』246、p 6～7、一九九二・一〇)

- 11〇「(特集=新しい学力観に立った国語科教育) 新しい学力観に立った指導の改善」  
(『月刊国語教育』134、p 36～39、東京法令出版、一九九二・一一)
- 12〇「(特集=いま、なぜ「絶対評価」なのか—相対評価の功罪) 提言 通知表の目的に合致した方向への改善を」(『現代教育科学』433、p 5～7、明治図書、一九九二・一二)
- ◎『国語単元学習の新展開 1 理論編』[第3章「国語学力と単元学習」p 36～53]  
(日本国語教育学会編、東洋館出版社、一九九二)

### 9 3 (平成5) 57歳

#### 【併任】

- ・大学設置・学校法人審議会専門委員=大学設置分科会(文部省高等教育局、93.8.1～94.3.31)
- ・学術審議会専門委員(文部省学術国際局、93.1.21～94.1.20)
- ・附属小学校長(93.4.1～97.3.31)

#### 【学内委員】

- ・全学：附属学校運営委員会  
：同上、教育実習専門委員会
- ・学部：就職委員会(～93.3.31)  
：教務委員会(～93.3.31)  
：教育実習委員会  
：教育賞選考委員会(93.4.1～97.3.31)
- ・教室：教室主任(～93.3.31)

#### 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

#### 【著述記録】

- 1〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成4年度読書感想文コンクール入賞者作品から)』、p 1～2、一九九三・一・一)
- 2〇「(講演要旨) 中高国語科授業の工夫」  
(『第25回中国地区私学教育研修会・第23回広島県分科会』、p 28、広島県私立中学・高等学校協会、一九九三・二)
- 3〇「1970年代以降のドイツにおける国語教育改革—プロジェクト法的ブロック授業を中心に—」  
(中国四国教育学会編『教育学研究紀要』38第2部、p 55～60、一九九三・三)
- 3〇「(Iシンポジウム=「これからの国語学力像を構想する」) 司会者のことば」  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』40、p 3、学芸図書、一九九三・三)
- 3〇「(誌上授業研究=実践提案を読んだ感想)「問題解決学習」の今後の課題」  
(『現代教育科学』436、p 46～47、明治図書、一九九三・三)
- 3〇「言語・言語文化への関心を高める国語科授業(2)」(吉田裕久、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』21、p 53～62、広島大学教育学部、一九九三・三)
- 3〇「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(3)—物語文指導の場合—」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』21、p 21～30、広島大学教育学部、一九九三・三)
- 3〇「(特集=浮橋康彦先生退官記念論集) 浮橋康彦先生ご講演記録の掲載にあたって」  
(広島大学教育学部光葉会編『国語教育研究』36、p 1～3、一九九三・三)

- 6○「(特集=キーワードでみる国語科実践研究の最前線)「関心・意欲・態度」の評価」  
 (『教育学・国語教育』476、p 152～155、明治図書、一九九三・六)
- 6○「(特集=読み方の習得を目指した国語科指導=特集テーマへの提言) 物語文の系統的読み方指導—読者への働きかけの装置に着目して—」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』911、p 6～11、一九九三・六)
- 7○「「新学力観」にもとづく学習指導」  
 (『K G Kジャーナル』315、p 2～3、開隆堂、一九九三・七)
- 7○「新任のご挨拶にかえて」  
 (広島大学附属学校部編『広島大学附属学校だより』31、p 1、一九九三・七)
- 8○「(巻頭言) 論理的作文指導のポイントは何か」  
 (日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』256、p 1、一九九三・八)
- 8○「(特集=気になる「実践用語」を解明する・用語解説) 9コミュニケーション技術」  
 (『教育学・国語教育』478、p 32、明治図書、一九九三・八)
- 8○「(授業研究(授業の検討)) 主体的な学習活動をつくりだし、「読み方」を身につけさせるために」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』913、p 38～43、一九九三・八)
- 8○「(今月のことば)「待つ」ということ」  
 (広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』913、p 5、一九九三・八)
- 9■『国語教育基本論文集成 26 国語教育方法論(3) = 指導過程論』[「解説」p 482～489]  
 (編集・解説、明治図書、一九九三・九)
- 9○「(今月のことば) 夏休みの宿題」  
 (広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』914、p 5、一九九三・九)
- 10○「(シンポジウム提案(1)) 学ぶ喜びを生み出す国語教室」  
 (日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』258、p 30～31、一九九三・一〇)
- 10○「(今月のことば) 苦手だった体育—運動会に思う」  
 (広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』915、p 5、一九九三・一〇)
- 11◎『新 国語教育学研究』[第一章「国語科教育学研究の課題」p 7～16]  
 (全国国語教育学会編、学芸図書、一九九三・一一)
- 11○「(今月のことば) 時代と音楽—素人の音楽談義」  
 (広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』916、p 5、一九九三・一一)
- 12○「(特集=観点別学習状況評価の参考資料は「評価基準」になるか)『評価基準』をみる二つの立場—なる場合、ならない場合—」(『現代教育科学』445、p 17～19、明治図書、一九九三・一二)
- 12○「(今月のことば) 子どもの心を読む」  
 (広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』917、p 5、一九九三・一二)
- ◎『中学校国語教材研究大事典』[第Ⅲ部文学の教材研究・文学の教材3年「まどさんのうた—阪田寛夫(学図3年)」p 369～372] (国語教育研究所編、明治図書、一九九三)

## 9.4 (平成6) 58歳

### 【併任】

- ・大学設置・学校法人審議会専門委員=大学設置分科会 (文部省高等教育局、～94.3.31)
- ・学術審議会専門委員 (文部省学術国際局、～94.1.20)
- ・附属小学校長

### 【学内委員】

- ・全学：附属学校運営委員会  
     ：同上、教育実習専門委員会
- ・学部：教育実習委員会  
     ：教育賞選考委員会  
     ：入試委員会 (94.4.1～96.3.31)

### 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本文学協会委員

【著述記録】

- 1〇「(特集=新学力観は「知識」否定の学力観か=国語科の新学力観=批判する側の言い分) 国語科教育改革の理念としての「新学力観」の検討—若干の疑問点・問題点を中心に—  
(『現代教育科学』446、p 15～18、明治図書、一九九四・一)
- 1〇「まえがき」  
(『第55回初等教育全国協議会・研究集録』、p 1、広島大学附属小学校、一九九四・一)
- 1〇「(今月のことば) 社会の変化と家庭科教育」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』918、p 5、一九九四・一)
- 2〇「(今月のことば) 入試シーズンに思う」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』919、p 5、一九九四・二)
- 2〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成5年度読書感想文コンクール入賞者作品から)』、p 1～2、一九九四・二)
- 3〇「(Iシンポジウム=「認知科学が国語教育に示唆するもの」) 司会者のことば」  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』41、p 3、学芸図書、一九九四・三)
- 3〇「言語・言語文化への関心を高める国語科授業(3)」(吉田裕久、他との共著)  
(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』22、p 51～59、広島大学教育学部、一九九四・三)
- 3〇「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(4)—物語文指導の場合—」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』22、p 21～30、広島大学教育学部、一九九四・三)
- 3〇「(今月のことば) 関心・意欲・態度」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』920、p 5、一九九四・三)
- 3〇「(授業研究(授業の検討)) 何のために、何を、どうイメージ化させるのか—イメージ化の自己目的化に警戒を—」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』920、p 38～43、一九九四・三)
- 3〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校編『研究紀要』22、p 1、一九九四・三)
- 3〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポプラ』26 =下学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九四・三)
- 3〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポプラ』26 =上学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九四・三)
- 4〇「(今月のことば) これからの取り組みにあたって」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』921、p 5、一九九四・四)
- 5〇「(今月のことば) 児童文集を読んで考えたこと—これからの教育課程について—」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』922、p 5、一九九四・五)
- 6〇「(授業研究(授業の検討)) 語り方(文体)をふまえた読みの指導」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』923、p 39～43、一九九四・六)
- 6〇「(今月のことば)「わかる」ということ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』923、p 5、一九九四・六)
- 7〇「(今月のことば)「ものの見方・考え方」を育てるということ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』924、p 5、一九九四・七)
- 8〇「(特集=自己学習力を育てる総合単元学習) 戦後の「国語単元学習」の問題点と授業への示唆」



- (『教育科学・国語教育』495、p 43～48、明治図書、一九九四・八)
- 8〇「(今月のことば)「皆さん」という言葉」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』925、p 5、一九九四・八)
- 9〇「(連載＝国語教育基本文献解題) 古田拓著 (一九五二年)『聞くことの教育』」  
(『教育科学・国語教育』497、p 82～83、明治図書、一九九四・九)
- 9〇「(今月のことば) 学習における想像の働き」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』926、p 5、一九九四・九)
- 10〇「(今月のことば)「チューリップの歌」—個人と集団の関係について」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』927、p 5、一九九四・一〇)
- 11〇「(今月のことば)「討論」寸感」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』928、p 5、一九九四・一一)
- 12〇「(特集＝文部省指導資料にみる「支援」観の検討) 教育観全体のなかで「支援」観を検討する—『小学校 国語指導資料』を中心に—」(『現代教育科学』457、p 8～10、明治図書、一九九四・一二)
- 12〇「(今月のことば) 価値観の教育としての環境教育」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』929、p 5、一九九四・一二)

**9 5 ( 平 成 7 )** 5 9 歳

**【併任】**

- ・附属小学校長

**【学内委員】**

- ・全学：附属学校運営委員会  
：同上、教育実習専門委員会
- ・学部：教育実習委員会  
：教育賞選考委員会  
：入学試験委員会

**【学外非常勤】**

- ・広島県立教育センター「平成7年度研究指導者」(95.6.23～96.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会常任理事
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本教科教育学会理事

**【著述記録】**

- 1〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成6年度読書感想文コンクール入賞者作品から)』、p 1～2、一九九五・一・一)
- 1〇「(今月のことば)「自分の実現したい夢」が芽生え、膨らむ教育を」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』930、p 5、一九九五・一)
- 2◎『「読者論」に立つ読みの指導 小学校高学年編』[第一章「読者論に立つ読みの授業の構想—文学作品の読みの過程とその指導」p 11～26](田近洵一ほか編、東洋館出版社、一九九五・二)
- 2〇「(今月のことば)「その日暮らし」からの脱出—新年に思う—」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』931、p 5、一九九五・二)
- 3◎『国語科教育改善のための国語能力の発達に関する総合・実証的研究』(平成7年度文部省科学研究費補助金(総合研究A)研究成果中間報告書)(研究代表者、一九九五・三)
- 3〇「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(5)—物語文指導の場合—」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部学部・附属共同研究体制編『研究紀要』23、p 17～26、広島大学

教育学部、一九九五・三)

- 30 「(講演記録) 子どもと創る国語科の授業」  
(兵庫教育大学・国語教育探求の会編『国語教育探求』4、p 3～24、一九九五・三)
- 30 「(今月のことば) 年度末の苦い思いを新年度への希望に換えて」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』932、p 5、一九九五・三)
- 30 「(特集＝「新しい学力観」と授業の変革＝特集テーマへの提言)「苦役」から「喜び」へ―授業改善の方向を考える―」(広島大学附属小学校学校教育研究会編『学校教育』932、p 6～11、一九九五・三)
- 30 「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポブラ』27＝下学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九五・三)
- 30 「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポブラ』27＝上学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九五・三)
- 40 「(今月のことば) 人間への信頼―阪神大震災の中で考えたこと」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』933、p 5、一九九五・四)
- 50 「(特集＝続・国語科が危ない―国語科を取り巻く環境) 国語科の指導内容をどう精選するか」  
(『月刊国語教育』166、p 10～13、東京法令出版、一九九五・五)
- 50 「(特集＝新しい国語科を創る新単元学習の提唱)『国語科新単元学習の構想と授業改革』を読んだ感想―「総合単元学習」を発展させるための具体的課題」(『教育科学・国語教育』508、p 279～283、明治図書、一九九五・五)
- 50 「(今月のことば) 話し方の修練―子どもたちの反応から学ぶ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』934、p 5、一九九五・五)
- 60 「基礎学力擁護論」  
(『教育科学・国語教育』510、p 65～68、明治図書、一九九五・六)
- 60 「(今月のことば) 今こそ醒めた目を―徒然草に学ぶ―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』935、p 5、一九九五・六)
- 70 「(今月のことば) 今、なせ「いじめ」が・・・」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』936、p 5、一九九五・七)
- 80 「(今月のことば) ニヒリズムとのたたかい―戦後五十年に思う―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』937、p 5、一九九五・八)
- 90 「(特集＝特集の解明①・音読・朗読で展開する文学の授業) 音読・朗読による文学作品の読み深めの指導」(『実践国語研究』151、p 6～11、明治図書、一九九五・九)
- 90 「(今月のことば)「生き物を飼う」ということ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』938、p 5、一九九五・九)
- 90 「(授業研究(授業の検討)) 反復・対比の構造をふまえた読みの試み―その意義と残された課題―」(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』938、p 38～41、一九九五・九)
- 90 「まえがき」  
(広島大学附属小学校編『研究紀要』23、p 1、一九九五・九)
- 100 「(特集＝「学習指導要領」の検討＝思考力低下との関連を探る) 52 年版学習指導要領の問題点―国語を中心に―」(『現代教育科学』467、p 45～48、明治図書、一九九五・一〇)
- 100 ◎『広島大学附属小学校 創立九十周年記念資料集』[「創立九十周年を迎えて」p 1]  
(創立九十周年記念資料集編集委員会編、広島大学附属小学校、一九九五・一〇)
- 100 「(今月のことば) 創立九十周年に思う」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』939、p 5、一九九五・一〇)
- 110 「(今月のことば) 子どもの言葉を聞いてやれない私たち」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』940、p 5、一九九五・一一)
- 120 「(今月のことば) この一年を顧みて―教育の再生を夢みつつ―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』941、p 5、一九九五・一二)

96 (平成8) 60歳

## 【併任】

- ・附属小学校長
- ・愛知教育大学「国語科教育特論Ⅳ」(集中講義)

## 【学内委員】

- ・全学：附属学校運営委員会  
：同上、教育実習専門委員会
- ・学部：入試委員会(～96.3.31)  
：教育実習委員会  
：教育賞選考委員会  
：研究推進委員会(96.4.1～98.3.31)

## 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会理事長(96.4.1～99.3.31)
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本教科教育学会理事

## 【著述記録】

- 1〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成7年度読書感想文コンクール入賞作品から)』、p 1～2、一九九六・一・一)
- 1〇「(今月のことば)「はる」への期待」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』942、p 5、一九九六・一)
- 2〇「(今月のことば) クタバってたまるか」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』943、p 5、一九九六・二)
- 3〇「学会活動の新たな展開を念じつつ―理事長就任のごあいさつ―」  
(全国大学国語教育学会編『国語科教育』43、p 128、学芸図書、一九九六・三)
- 3〇「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(6)―物語文指導の場合―」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編『研究紀要』24、p 39～48、広島大学教育学部、一九九六・三)
- 3〇「小・中・高等学校 12 か年一貫教育課程の開発(1)」(原田彰、他との共著)(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編『研究紀要』24、p 1～10、広島大学教育学部、一九九六・三)
- 3〇「(今月のことば) 大文字の文化が語り合える言葉の力をこそ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』944、p 5、一九九六・三)
- 3〇「(特集=個が生きる教育の今後の課題=特集テーマへの提言) 個が生きる教育の今後の課題」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』944、p 6～11、一九九六・三)
- 3〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポブラ』28 = 下学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九六・三)
- 3〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポブラ』28 = 上学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九六・三)
- 4〇「(今月のことば) 現実のなかに未来を見る」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』945、p 5、一九九六・四)
- 5〇「(今月のことば) 小学校へのパソコンの導入」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』946、p 5、一九九六・五)
- 6〇「(今月のことば) 学校そのものを問い直す努力を」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』947、p 5、一九九六・六)

- 7〇「(特集=評価) 転換期における国語学力論の課題」  
『教育科学・国語教育』528、p 31～32、明治図書、一九九六・七)
- 7〇「(連載=国語教育者への道 (28)) 大槻和夫」  
『教育科学・国語教育』527、見返し頁、明治図書、一九九六・七)
- 7〇「(今月のことば)「総合学習」への期待」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』948、p 5、一九九六・七)
- 8〇「(今月のことば) 花火」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』949、p 5、一九九六・八)
- 9〇「(今月のことば) 虫の音」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』950、p 5、一九九六・九)
- 9〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校編『研究紀要』24、p 1、一九九六・九)
- 10〇「(シンポジウム提案 (1)) 確かで豊かな国語力の育成—活動主義的国語科授業の問題点とその克服—」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』294、p 44～45、一九九六・一〇)
- 10〇「(今月のことば) 学芸会と文化祭」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』951、p 5、一九九六・一〇)
- 11〇「(今月のことば) 猫の缶詰—痛みを感じつつ—」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』952、p 5、一九九六・一一)
- 12〇「(今月のことば) 命あるものへのいとおしみ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』953、p 5、一九九六・一二)

**97 (平成9) 61歳**

**【併任】**

- ・附属小学校長 (～97.3.31)

**【学内委員】**

- ・全学：附属学校運営委員会
- ・学部：教育実習委員会 (～97.3.31)  
：教育賞選考委員会 (～97.3.31)  
：研究推進委員会

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会理事長
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本教科教育学会理事

**【著述記録】**

- 1 ■『中学校・高等学校 国語科学習指導の研究』[第二編高等学校編 第一章「国語科の目標と内容」p 65～76 (川端俊英との共著)] (川端俊英らと共編著、双文社・一九九七・一)
- 1〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集 (平成8年度読書感想文コンクール入賞作品から)』、p 1～2、一九九七・一・一)
- 1〇「(今月のことば) 年賀状」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』954、p 5、一九九七・一)
- 1〇「まえがき」  
(広島大学附属小学校編『第87回研究発表協議会発表要項』、p 1、一九九七・一)
- 2〇「(特集=学習指導要領改訂に向けての提案・私ならここを書き直す・1) 国語科の構造と「内容」の再編」(『教育科学・国語教育』537、p 73～75、明治図書、一九九七・二)
- 2〇「(今月のことば) 学校にも「規制緩和」を」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』955、p 5、一九九七・二)

- 3◎『国語科教育改善のための国語能力の発達に関する総合・実証的研究Ⅱ』〈平成8年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A-1)研究成果中間報告書〉(研究代表者、一九九七・三)
- 3○「(特集=新しい時代が求める教育を探る=特集テーマへの提言) 学びの転換」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』956、p 18～23、一九九七・三)
- 3○「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(7)」(吉田裕久、他との共著)  
(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編『研究紀要』25、p 45～54、広島大学教育学部、一九九七・三)
- 3○「小・中・高等学校12年一貫教育課程の開発(2)」(片上宗二、他との共著)  
(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編『研究紀要』25、p 1～10、広島大学教育学部、一九九七・三)
- 3「学びつつ、乗り越えたい」  
(『西郷竹彦文芸・教育全集』27・月報15、p 3～5、恒文社、一九九七・三)
- 3○「(今月のことば) 要求と尊敬」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』956、p 5、一九九七・三)
- 3○「懺悔と期待」  
(広島大学附属学校部編『広島大学附属学校だより』43、p 1、一九九七・三)
- 3「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポブラ』29 =下学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九七・三)
- 3「まえがき」  
(広島大学附属小学校学校文集編集委員会編『児童文集 ポブラ』29 =上学年、p 2～3、広島大学附属小学校、一九九七・三)
- 3○「贈る言葉」  
(広島大学附属小学校第92回卒業生編『平成8年度卒業文集 はばたけ』、p 2～3、一九九七・三)
- 4○「(今月のことば) ランドセルのなかみ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』957、p 5、一九九七・四)
- 5○「(提言=21世紀にふさわしい学習指導要領「国語」とは・現行の問題点と改善点) 教育課程全体の中に位置付けた改善を」(『教育科学・国語教育』542、p 30～33、明治図書、一九九七・五)
- 5○「(今月のことば) 子どもへの注文、自分への注文」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』958、p 5、一九九七・五)
- 6○「(今月のことば) 宇宙と日常性」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』959、p 5、一九九七・六)
- 7○「(特集=子どもの表現力) 欧米における作文指導」  
(文部省大臣官房調査統計企画課編集『教育と情報』472、p 22～27、第一法規、一九九七・七)
- 9■『紙風船一明日への希望を求めて一』  
(単著、広島大学附属小学校学校教育研究会、一九九七・九)
- 9○「まえがき」  
(広島大学附属小学校編『研究紀要』25、p 1、一九九七・九)
- 10○「(シンポジウム提案②)「関わり合う力」を育てる」  
(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』306、p 54～55、一九九七・一〇)
- 11○「(授業研究(授業の検討))「意味づけ・価値づけ」の読み授業への提案」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』964、p 38～41、一九九七・一一)
- 11○「(誌上シンポジウム・提案に対する意見・5) 先行実践・研究との関わりを明確に」  
(『教育科学・国語教育』550、p 29～32、明治図書、一九九七・一一)
- 11◎『国語教育学の建設1 国語科教師教育の課題』[「まえがき2・国語科教師教育の進展のために」p.4～6、第1章国語科教師教育と国語教育学—「国語科教師教育における国語教育学の目的と体系」p 24～35](全国大学国語教育学会編、明治図書、一九九七・一一)
- 11○「(選評) 読書感想文を読んで」

(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成9年度読書感想文コンクール入賞作品から)』、p 1~2、一九九七・一一・一)

- 12 ○「(特集=教科内容スリム化のためにここを「厳選」したい・国語科)国語科教育の改善をめざして「教科内容」を考える」(『現代教育科学』494、p 26~28、明治図書、一九九七・一二)

## 98(平成10) 62歳

### 【学内委員】

- ・全学：附属学校教育実習専門委員会(～98.3.31)  
：留学生センター運営委員会(98.4.1～99.3.31)
- ・学部：研究推進委員会(～98.3.31)  
：国際交流委員会(98.4.1～99.3.31)

### 【学外非常勤】

- ・安田女子大学大学院「国語教育特殊講義Ⅰ」(集中講義、98.9.～98.9)

### 【学会委員】

- ・全国大学国語教育学会理事長
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本教科教育学会理事長

### 【著述記録】

- 1 ○「(特集=21世紀への提言「国語教育の改善に向けて」5言語教育としての性格を重視した国語科の推進を図る)欧米諸国の国語教育の当面する基本課題と今後の国語教育」(『日本語学』191、p 143~149、明治書院、一九九八・一)
- 2 ◎『西郷竹彦文芸・教育全集 13 文芸学入門』[解説「西郷文芸学とそれに基づく文芸の授業の今日的意義」p 483~491](西郷竹彦著、恒文社、一九九八・二)
- 2 ○「(特集=第一三回市民教育講座)子どもたちの学力を豊かに育てるために一教課審「中間まとめ」をどう読むか一」(広島教育研究所編『ヒロシマの子育て・教育』85、p 4~9、一九九八・二)
- 3 ◎『国語科教育改善のための国語能力の発達に関する実証的・実践的研究Ⅰ』(文部省科学研究費補助金(基盤研究B一1)研究成果中間報告書)(研究代表者、一九九八・三)
- 3 ◎『野地潤家著作選集 別巻2 野地潤家国語教育論を読む』[著作選集について「国語教育個体史研究の意義—国語教育実践・研究の確かな拠点の構築」p 17~19、野地潤家論など「野地潤家(のじ・じゅんや)—『国語教育研究大辞典』の項目から」p 326~328](中西一弘編、明治図書、一九九八・三)
- 3 ○「(特集=思考力・表現力を育てるための「文学教材」の授業—ここを改善したい)中学校・文学教材を表現教材として生かす」(『教育科学・国語教育』555、p 45~47、明治図書、一九九八・三)
- 3 ○「小・中・高等学校12年一貫教育課程の開発(3)」(片上宗二、他との共著)(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編『研究紀要』26、p 1~9、広島大学教育学部、一九九八・三)
- 3 ○「生きて働く力を育てる国語科学習指導の研究(1)」(吉田裕久、他との共著)(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編『研究紀要』26、p 45~54、広島大学教育学部、一九九八・三)
- 3 ○「(特集=「自ら学ぶ意欲を育てる教育課程の編成と、評価の方法の開発」=国語科「総合的な学習活動における評価を探る国語科教育」)本研究の成果と今後の課題」(広島大学附属福山中・高等学校編『中等教育研究紀要』38、p 30、一九九八・三)
- 4 ○「(特集=段落分け指導・人物の気持ちの読み取りの是正・4)段落分け指導・人物の気持ちの読み取りの問題点とその改善」(『教育科学・国語教育』558、p 133~136、明治図書、一九九八・四)

- 4〇「(特集＝生活科と他教科との合科的な指導研究の要点) 生活科と国語科との合科的な指導研究の要点」(『生活科と共に総合的学習を創る』87、p 15～17、明治図書、一九九八・四)
- 4〇「(特集＝国語教育人物誌) 広島県」  
(『教育科学・国語教育』557、p 101、明治図書、一九九八・四)
- 8〇「教科教育学研究パラダイムの検討—教科教育学の反省と課題—」  
(日本教科教育学会編『平成 10 年日本教科教育学会全国大会論文集』、p 84～85、一九九八・八)
- 8〇「日本における国語教育改革の動向」  
(98 韓国国語教育研究会編『夏学術発表会(於ソウル女子大学校バロム教育会館会議室)資料集』、p 35～39、一九九八・八・二一)
- 10〇「(シンポジウム: 確かで豊かな表現力の形成—音声表現を中心に 2) 音声言語の指導—今、何が重要か」(日本国語教育学会編『月刊・国語教育研究』318、p 42～43、一九九八・一〇)
- 11〇「(特集＝授業の検討) 授業研究: 説明文の読みにおける表象化」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編『学校教育』976、p 38～41、一九九八・一一)
- 11〇「折り折りのことば」  
(『河』の会編『続「河」』3、p 73～76、一九九八・一一)
- 11〇「(選評) 読書感想文を読んで」  
(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館協会編『文集(平成 10 年度読書感想文コンクール入賞作品から)』、p 1～2、一九九八・一一)
- 12〇「(巻頭言) 言葉と事実」  
(日本国語教育学会編『月刊国語教育研究』320、p 1、一九九八・一二)
- 12〇「(連載＝国語教育基本文献解題) 古田拡著『国語教室の機微と創造』」  
(『鍛える国語教室』18、p 97～98、明治図書、一九九八・一二)

**99 (平成 11)** 63歳

**【学内委員】**

- ・全学: 留学生センター運営委員会(～99.3.31)
- ・学部: 国際交流委員会(～99.3.31)

**【学会委員】**

- ・全国大学国語教育学会理事長(～99.3.31)
- ・日本国語教育学会理事
- ・日本教育方法学会常任理事
- ・日本教科教育学会理事長

**【著述記録】**

- 1〇「(特集＝国語教育人物誌) 広島県」  
(『教育科学・国語教育』570、p 101、明治図書、一九九九・一)

**★その他、国語教科書・指導書・指導用小冊子等**

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ○『小学校 国語』及び同『指導書』   | 学校図書 |
| ○『中学校 国語』及び同『指導書』   | 学校図書 |
| ○『高等学校 国語Ⅰ』及び同『指導書』 | 学校図書 |
| ○『高等学校 国語Ⅱ』及び同『指導書』 | 学校図書 |
| ○『高等学校 現代文』及び同『指導書』 | 学校図書 |